



TIAニュース

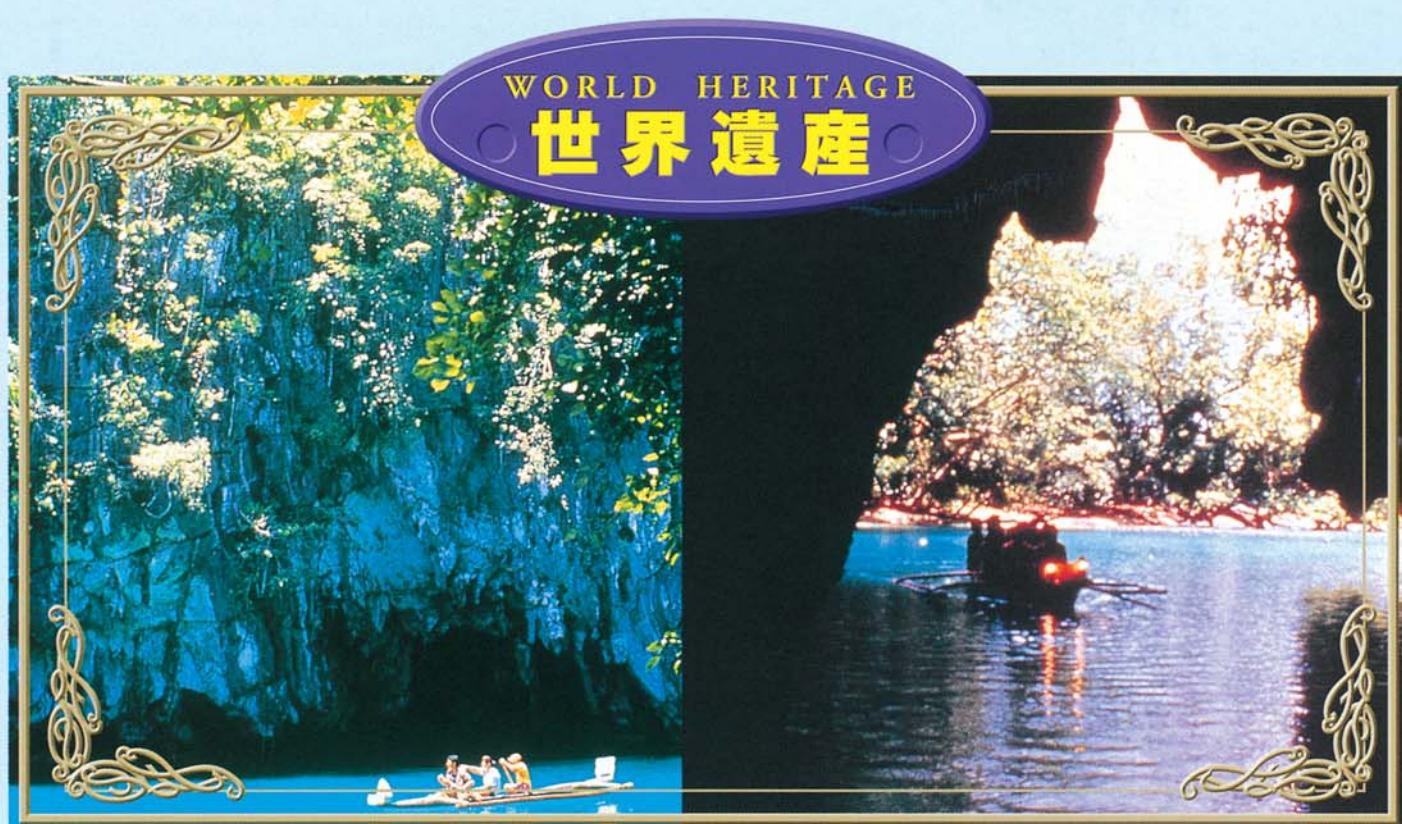


財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

2000
JULY
No.68

7



▲「フィリピンの秘境」を流れる地下河川プエルトープリンセサ地下河川国立公園。世界遺産に登録されたのは、北をセントポール湾、東をバブヤン川に区切られた公園を含む20kmほどどの地域。ほとんどがカルストと呼ばれる石灰岩台地。地底にはセント・ポール洞窟と呼ばれる川が流れるトンネルがあり、内部には見事な鍾乳石や石筍が形成されている。(提供:フィリピン政府観光省)

**青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO. 17**

マレーシア

ようこそとちぎへ

平成12年度海外技術研修員

- ◆ J E T コーナー ポーリーン・バームさん (ニュージーランド出身)
- ◆ トピックス 新規留学生のためのガイダンス
- ◆ レポート 国連「新しい世紀子供の願い」展

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

JETコーナー

外国语指導助手
ポーリーン・バームさん
(ニュージーランド出身)

25年間慣れ親しんだ文化を離れ、新しい文化への挑戦は私の人生にとって、いろいろな影響を与えてきています。ここで得てきている経験は、将来必ずかけがえのないものとなるでしょう。

私がよく、日本や母国ニュージーランドでさえも質問されることは『なぜ日本の?』という事です。事実ニュージーランドには、いろんな文化が存在し、公的には、多文化を有する国とされています。例えば、マオリ・イギリス・太平洋の島々・インド・ギリシャ・アイルランド・デンマーク・スコットランド・ポーランド・中国・フランス等の伝統が混在しているので、"るつぼ"（様々な人種や文化の入り混じった場所）という表現がピッタリだと思います。だからこそ日本で働き、生活したいと思ったのは、日本のように強い単一文化を有している国をより知りたいと思ったから



です。日本の歴史・風習・文化は、とても独特であり、私達のような多文化国社会では決して経験できるものではありません。一方、ニュージーランドの文化は、移民・難民・探検家の影響によって変化してきています。私達の歴史は比較的に浅く、いろいろな人々と概念が混在する素晴らしいものです。

日本に来ることによって母国の文化のことをもっと違った視点から知ることができます。

ニュージーランドに帰国する時には、これがいっそうはつきりすると思います。英語を教える立場の助手として日本に来ましたが、私は日本からいろんなことを学んでいます。このような経験や体験をさせてくれている日本や日本人の人々を忘れる事は、一生ないでしょう。

Pauline Balm

Leaving the culture that I have known for 25 years to become accustomed to a new one has been, and is continuing to be, a challenge that has an equivocal impact upon my life. The consequences of my experiences here will no doubt touch every aspect of my life in the future.

The question I am so often asked by people in Japan and even in New Zealand is 'Why Japan?'

New Zealand is officially a 'bi-cultural' country, although in reality it is a country of rich cultural diversity. The people celebrate Maori, English, Pacific Island, Indian, Greek, Irish, Danish, Scottish, Polish, Chinese and French traditions, to name just a few.

New Zealand does suitably fit the title, 'melting pot'.

So, the desire to live and work in Japan came from a desire to know first hand what a mono-culturally rich country is like. Japan's history, customs and culture have a depth and unique character which we can not possibly experience in a multi-cultural society.

In contrast New Zealand's culture has evolved from immigrants, refugees and explorers. We have a comparatively young history and a wonderfully diverse range of peoples and ideologies.

The Japan I have come to know, has given me the opportunity to reflect upon my own culture. It has allowed me to view my own world from a different perspective.

I know the complete impact of this more diverse outlook will become clearer once I return to New Zealand.

Although I came to Japan as an Assistant Language Teacher, Japan has in fact been my teacher. For this reason I will never forget Japan and her people.

■TIAライブラリー案内■ (貸出のお問い合わせはTIAまで)

●いっしょにやろうよ国際ボランティア NGOガイドブック

私たちの生活はもはや海外の国々をぬきには考えられません。とくに、アジアやアフリカ・中南米などの第三世界なしには成立しないのが現実です。最近、PKOや環境問題などで注目されているのが、NGO（非政府組織）の活動です。特定の政府や企業な



どの活動とは違い、市民が自発的に自分の意思で行う援助です。

すでにさまざまなNGOが、それぞれの考え方で活動しています。活動内容も福祉、環境、国際協力などさまざまな分野があります。国際協力に関わっているNGOをとりあげ、もっと多くの人に参加活動を理解してもらい、参加してもらうために作成された本です。（NGO情報局編／株三省堂発行）

●忘れられた子供たち [スカベンジャー]

アジア最大のスラムといわれるフィリピンのスモーキーマウンテン。

極限状態のなかで生きる人たちと共に住



んで、撮影しつづけた若い日本人映画監督の観察と魂の記録。悲惨と輝きが同居する世界を単なる同情でも讃美ではなく、あるがままに見つめる。

その境地に至るまでの著者自身の変化、魂の遍歴が、「実感なき社会」に住む私たちに訴えかけて来るのも大きい。

とくに若者に読んでほしい一冊です。
(四ノ宮浩著／中央法規出版(株)発行)

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

コスタリカ



①ガブリエル・ヘルドルド・ロドリゲス・ミランダ ②39・男
③国際協力事業団 ④土壤肥料(土壌状態の分析及び施肥管理 ⑤栃木県農業試験場



タイ



①ケティヨス・ソンサガア ②25・男
③国際協力事業団 ④農業協同組合(農協事業一般) ⑤はが野農業協同組合ほか



ホンジュラス



①エルミス・ラファエル・スニガ・アルシド ②21・男 ③国際協力事業団 ④自動車整備(EFIの保守・修理及び自動車整備修理教育分野のカリキュラム) ⑤日産自動車整備専門学校



ザンビア



①ムング・チュングエ・マボラ ②27・男 ③国際協力事業団 ④数学教師(高校の数学教育及び課外活動)(バレーボール) ⑤栃木県立宇都宮北高等学校



平成12年度 栃木県海外技術研修員

6月5日、今年度の栃木県海外技術研修員10名が入国した。日本語研修を終えた後、各専門技術の研修に入る予定。

出身国名

①氏名②年齢・性別③推薦機関
④研修科目⑤研修機関(敬称略)



平成12年度栃木県知事表敬

ブラジル



①峰下・エリーナ・寛子 ②23・女 ③在アマゾン栃木県人会 ④大豆加工(豆腐、納豆、味噌その他) ⑤栃木県食品工業指導所・青源味噌(株)



中華人民共和国



①徐偉 ②35・女
③浙江省人民政府 ④花卉栽培(花卉栽培技術、花壇管理技術、花卉販売) ⑤栃木県農業試験場



ブラジル



①依田・エリカ・アユミ ②22・女 ③在伯栃木県人会 ④デザイン(宝石デザイン・家具デザイン) ⑤坂本廣樹(グラフィックマン)



中華人民共和国



①周永学 ②28・男
③浙江省人民政府 ④動物病気予防(家畜(豚)疾病予防、衛生、飼料管理、糞尿処理等) ⑤栃木県畜産試験場



中華人民共和国



①袁位高 ②35・男
③浙江省人民政府 ④樹木栽培(木材栽培管理、建築用材栽培管理保護、森林公益機能計量調査) ⑤栃木県林業センター



中華人民共和国



①許瑛 ②31・女
③浙江省人民政府 ④看護(ICUの病棟管理、看護婦の管理及び評価方法) ⑤済生会宇都宮病院



マレーシア

MALAYSIA

国土面積は日本の約0.9倍。

マレー半島の南部とボルネオ島北部の二地域に分けられる。半島部には南北に中央山脈が走り、南部には平野が広がる。ボルネオ島北部には海岸沿いに平野が広がっているが、約三分の一が湿地帯。

天然ゴム、木材、バーム油、石油、スズなど天然資源にめぐまれ、これら一次産品が重要な輸出品になっている。天然ゴムの生産は世界第一位。

案内人

おおののかつひろ
大野雄大さん（宇都宮市在住・28歳）



大学時代に青年海外協力隊のことを知り、自分で持っている技術がなかったため、できることはと考え、大学4年の時に、卒業を1年延ばして日本語教育課程を履修。東南アジアで活動したいと考え、協力隊に応募。

1996年7月から1999年8月までの3年間、西マレーシアのペラ州イポーにある全寮制の男子校にて日本語教師として活動。

派遣先は全寮制の男子校

私の派遣された学校は、首都クアラルンプールから約200kmで、クアラルンプールと観光地で有名なペナン島との中間地点に位置しているイポー市にあります。配属された学校は教育省直轄の学校で、1957年に創設されたスコラトンクアブドゥルラーマという全寮制の中高等学校です。この学校はマレーシアの初代の国王の名を取つてつけられた由緒ある学校で、主にマレー系と少数民族が学んでいます。

マレーシアの中高等学校は、日本でいう中学一年から高校二年までの5年間の教育方式を採用しています。

マレーシアにおける日本語教育は、84年に協力隊員が入ってから行われはじめました。最初は6校程度しかありませんでしたが、現在ではなんと30校にもおよぶ学校で、日本語教育が行われています。これは、マハティール首相が82年に提唱した「東方政策」(ルックイースト)に伴う政策の1つです。



▲動詞の活用を教える
大野さん

マレーシアの教育制度

マレーシアは、国家予算の20%を教育費に当てるほど教育を重視している国です。小学6年生でオールAを取った優秀な児童だけが全寮制の学校に入ることが出来ます。また、5年間の中高等学校を卒業した時点で、大学教育予備教育課程（マトリキュレーション）という1年半から2年程度の課程を受けなければなりません。その後、SPMと呼ばれる試験を受けて、その点数によって振り分けられ、大学から入学許可を受けて初めて、入学できるわけです。



40分授業には休み時間がない

マレーシアの学校の授業は、基本的に40分授業を採用していますが、日本のように授業と授業との間に休み時間は設けていません。強いて言えば、10時に一度休み時間があるだけで、あとは休み時間はありません。

もう一つ日本と違う点は、昼食が午後2時からという点です。昼休みは、1時間ほど取るので、午後の授

赴任先の学校校舎



業は、3時から4時半ぐらいまで行います。その後は各自が自習という感じで7時くらいまで行っています。必ず教室で勉強するように指導されています。

マレーシアには、10年ほど前から協力隊員が派遣されているので、現在彼らが使っている日本語の教科書とワークブックは、以前の協力隊員らが作成したものを利用しています。

初級レベルは、4年間で、300時間の授業が目標です。



日本文化の日

日本語の授業以外に、日本文化の日を設け、日本語劇や茶道などを実施しています。ただ、今は日本語以外にも、フランス語やドイツ語でのフェスティバル等も行っています。また、クアラルンプールとペナンでは、ジャパンフェスティバルが開催され、日本の盆踊りが毎月7月ごろに松下電器の工場のグランドを借りて、行われます。



▲盆踊りの様子

マレーシア



▶ヒンズー教寺院まで練り歩く様子



マレーシアは多民族国家

マレーシアは、多民族国家であるため、それぞれの民族がそれぞれの伝統や文化を継承し続けています。



▶マレーシアの市場

私のいたイボー市は、50万人の人口を抱え、マレーシアの中でも大都市になりますが、物価は比較的安い方です。当市は、昔錫鉱山栄えたところで、中国からの入植者が多かったため、中華系が多く、人口比率でいうと、マレー系（イスラム教）が大部分、中華系、タミール系（ヒンズー教）の順となっています。

イスラム教徒は異教徒とは結婚できなかったり、結婚する場合非イスラム教徒は、改宗しなければならないなど、かなりイスラム色の強い国です。

主食は米ですが、日本で食べられているジャボニカ米とは違って、いわゆる「タイ米」を食べています。

料理や生活様式においては、多民族国家であるため、各民族間で異なりますが、マラッカ王国時代にイスラムと道教が入り交じった時代があり、そのときに、マレー料理を主流にした中華のニュニヤ料理という



▲断食明け祭のお菓子

のができました。この料理は辛いのですが、大変おいしい料理です。

マレー系は、イスラム暦を採用しており、約1か月弱は断食（ラマダン）します。それが終わると断食明け祭（ハリーライブアサ）があり、もち米とココナッツミルクを入れて蒸したものを「ルマム」（竹筒にいれたもの）と「クトゥバ」（バナナの葉っぱ）と呼ばれる料理を「ルンダン」（辛い牛肉の角煮）と一緒に食べます。また、「クエラヤ」（祭りの時のお菓子）も食べます。



儀式▶ヒンズー教の苦行の儀式

この時期は、いわゆるお正月みたいなものなので、子供には日本でいうお年玉を日本円で600円くらいあげます。

ヒンズー教徒は「タイブーサン」（苦行の儀式）と呼ばれる2週間の断食を行います。この時には、顔や体に針を刺したりして、そのまま、ヒンズー寺院まで歩き、ヒンズー寺院の本尊でこの針を抜いてもらうというものです。

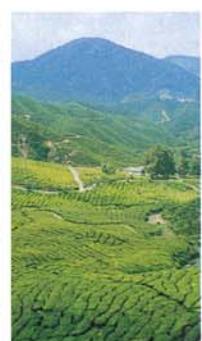
通常ヒンズー教では女性は外に出さないのが教えですが、この時ばかりは、女性も外に出ることが許されます。

キメロンハイランドという場所は、昔、インドからの入植者の多かったところで、茶畠があります。

また、マレーシアの民族衣装であるバティックは、マレー系以外、中華系の民族の間でも公式のパーティーの服装とされています。

マレーシアの結婚式は、それぞれの民族で違っています。マレーシアで大多数を占めているマレー系を例にあげると、日本のような盛大な披露宴は行わず、簡単なパーティーを開きます。このときには、親類友人以外に、近所の人たちも一緒に加わってお祝いします。

結婚式はそれぞれの民族でその宗教に合わせて行われることが通常です。



◀キメロンハイランドの茶畠



◀マレー系の結婚式

データ

マレーシア



左上に青地に黄色の三日月と14稜星。ほかは、紅白の横14条。旧マラヤ連邦の11稜星11条が、1963年にサバ、サラワク、シンガポールが増え14稜星14条となった。

- ① 面積 330,000km²
- ② 人口 2218万人（98年）
- ③ 首都 クアラルンプール
- ④ 主要言語 マレー語、英語、中国語、タミール語
- ⑤ 民族構成 マレー人(58%) 華人(32%) インド系(10%)
- ⑥ 主要宗教 イスラム教、仏教、ヒンズー教
- ⑦ 通貨 リンギット
- ⑧ 元首 国王
- ⑨ その他 協力隊員の派遣数1085人 栃木県からは12人

TOPICS トピックス

新規留学生のための ガイダンス開催

TIAでは、栃木県内の大学・短大・高等専門学校で学生生活をスタートした新規留学生を対象に、6月3日（土）、ガイダンスを開催した。

とちぎ国際交流センター多目的ホールで行ったガイダンスには、留学生、大学関係者約120名が参加した。栃木県のあらましや留学生に関する事業説明の後、先輩留学生による留学生活の体験談や新規留学生に対するアドバイスをシンポジウム形式で行った。本年度のパネリストは、足利工業大学の朱 蓉艶さん（中国）、白鷗大学の蘇 凤鳴さん（中国）、那須大学の楊蕾さ

▼熱心に先輩からの体験談を聞く留学生



ん（中国）、宇都宮大学のアリ・トルクメンさん（トルコ）の4名で、留学生活を送る上での課題や解決方法、日本人学生との交流の仕方などを述べてくれた。その後、新規留学生からさまざまな質問が出るなど、活発なパネルディスカッションが繰り広げられた。

このガイダンス終了後には、近くの「ニューミくら」で懇親パーティーを行い、留学生同士が互いに情報交換などをする風景が見られた。パーティーの終わりには、新規留学生を代表して、宇都宮大学で学んでいるチャン・ティ・フーンさんが流暢な日本語で挨拶した。

知ってて得する なんでもQ&A

[在留特別許可って何ですか？]

Q. 日本人が超過滞在の外国人と結婚した場合、その外国人は在留資格（ビザ）を取得し、合法的に滞在できるようになりますか。

A. たとえ婚姻届が受理されても、配偶者が超過滞在であることには変わりありません。日本で合法的に暮らすためには、「在留特別許可」をとらなければなりません。在留特別許可は、超過滞在の外国人が合法的に住む資格を日本にいたまま取得できる唯一の方法です。入管法第50条1項3号によると、在留許可は「法務大臣が特別に在留を許可すべき事情があると認めるとき」に出されるものとされています。取得できるのは2人の同意に基づいて結婚し、現在そして今後も真面目に安定した生活をして行くだろうと認められた人だけです。申請から審査を経て取得するまでに相当な時間がかかるることは覚悟しなければなりません。

レポート

国連 「新しい世紀こどもの願い」展

TIAでは、6月1日から6月30までの1ヶ月間、世界中の子供たちが21世紀の夢を描いた絵画や作文集を展示した「国連・新しい世紀こどもの願い」展をとちぎ国際交流センターで開催した。

展示されている作品は世界中の人々が仲良くするためにはどうしたらいいか？21世紀になくなつたほうがいいものは何か？人間と自然が仲良くするためにはどうしたらいい



▲展示会場の様子



▲会場を見学する児童たち

いか？21世紀にはどんな家に住んでみたいか？あなたの21世紀の夢はなにか？といった問い合わせとなるべき作品もあった。

この展示会は、国連の絵画展ということもあって、小学校の先生方も関心を寄せられ、児童たちをつれてセンターに見学にこられた学校やクラブもあった。

児童たちからは、「ぼくらでは描けない絵がたくさんあって、すばらしい。」とか、「絵を見ていると日本とは違った民族や風景が描かれているので、世界の暮らしがどのようなものかもよくわかる。」といった声が聞こえた。

特に児童たちの目を引いたのは色使いのようで、カラフルな絵には多くの児童たちが見入っていた。

また、災害や環境破壊など世界で起きて

いるいろいろな問題を問う作品も多く、考えながら見ている子供たちの姿が見受けられた。

各々の作品にはその国を示す小さな国旗が貼ってあったため、児童たちは床に広げられたマット状の地図で、その国を探しながら、国旗と国の名前を確かめたりしていた。



▶絵画作品の
(抜き出し)



▲真剣に答えをみつける児童たち

情報発信 地域の国際交流案内

★AFS留学生のためのホストファミリー募集

国際理解教育促進のため、世界各国の高校生を対象とした交換留学プログラムを実施している(財)AFS日本協会栃木支部が、下記の内容でホストファミリー（留学生の受入家庭）を募集しています。

▶受入期間=2001年3月末から翌年2月上旬まで ▶ホストファミリーにご負担いただくもの=家族の一員として必要な諸経費（食費、光熱費等）▶留学生の出身国=世界27か国 ▶主な受入れ高校=黒磯南、宇都宮、宇都宮女子、宇都宮中央女子、宇都宮北、栃木南、国学院大学栃木、氏家、小山城南高校ほか ▶資料請求・連絡先=(財)AFS日本協会栃木支部（支部長船田千絵さん）〒321-0963宇都宮市南大通り2-6-2 ☎028-633-7764

★2000年度N G Oワーカー養成基礎セミナー参加者募集！！

第5回「食べ物・健康・環境」

▶日程=平成12年9月2日（土）～6日（水）。9月2日（土）：足尾銅山の足跡（坂原辰夫氏・田中正造大学学長）。公害と食べ物～水俣病の経験から～（大沢忠雄氏・反農薬水俣病地区生産者連合代表）。9月3日（日）：健康食としてのエゴマ効用と村づくり（村上修平氏・有機農家日本エゴマの会会長）。エゴマ料理の実習（村上みよ子氏）。エゴマ料理で親睦会。9月4日

（月）：有機農業と消費者～熊本土といのちを守る会の経験を通して～（高丸和彦氏・有機農家熊本土といのちを守る会）。アジア学院の学生と共同作業、農薬の危険性とわたしたちの食（田坂興亞氏・国際基督教大学教授）。9月5日（火）：国際協力と農業開発（AICAF 参与）▶申込締切=開催初日の一週間前。▶問い合わせ先=アジア学院〒329-2703 栃木県那須郡西那須野町楢沢442-1 ☎0287-36-3111 FAX.0287-37-5833 EMAIL:ari@nasu-net.or.jp（担当荒川）URL:www.ari.edu/

★平成12年度日本語能力試験

▶対象=原則として、日本語を母語としない者 ▶試験日=平成12年12月3日（日） ▶実施地=北海道、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県 ▶受験料=5,200円（消費税含む）▶願書受付期間=平成12年8月7日（月）～9月14日（木）（9月14日消印有効）▶資料請求・問い合わせ先=財団法人日本国際教育協会日本語能力試験係〒153-8503東京都目黒区駒場4-5-29 ☎03-5454-5577/03-5454-5215 http://www.aiej.or.jp/ksj-top.html

★J.TEST 実用日本語検定第38回試験

▶試験日=平成12年9月17日 ▶受験料=A-D レベル2,100円 E-F レベル1,500円 ▶公開試験会場=全国13都市：札幌・仙台・栃木・東京・新潟・静岡・名古屋・大阪・京都・神戸・広島・福岡・沖縄 ▶申込方法=「個人申込用紙」に必要事項記入の上、写真と返信用切手及び身分証明書コピーを同封し、J.TEST事務局に送ること。受験料は郵便局から振り込むこと。▶申込み・お問い合わせ=日本語検定協会/J.TEST事務局〒164-0003東京都中野区東中野1-

57-8 辻沢ビル☎03-3368-8106 FAX.03-3368-8 107 http://www.j-test.org/jtest/

★「外国の友人の目から見た浙江」作文募集

浙江省人民对外友好協会は、外国の友人と相互理解、交流と友情を促進するため、浙江日報社、錢江晚报社と共に「外国の友人の目から見た浙江」作文募集を実施する

▶形式=文体形式に制限なし。字数は1500字（漢字）以内。原稿のほか、投稿者の略歴（200字以内）1部と写真1枚添付のこと。

▶原稿用語=中国語、又は日本語、英語等

▶投稿対象者=今までに浙江省を訪問し、又は現在浙江省で勤務、生活している世界各国の人たち。▶締切日=2000年8月31日

▶入選作品=入選作品の中から、一等賞（2点）、二等賞（5点）、三等賞（10点）優秀賞（数点）を決定し、入選者には賞状と記念品を授与。入選作品は「浙江日報」「錢江晚报」にそれぞれ20点順次掲載予定

全ての入選作品を一冊の冊子に編集し、永久保存。（尚、原稿は返却できませんのでご了承ください。）▶送付先=中国浙江省人民对外友好協会〒310007中国浙江省杭州市石函路1号 ☎001-86-571-7054948/7054947 FAX.001-86-571-5156432/7054949

★2000年度中国語能力認定試験

漢語水平考試（HSK）

▶試験日=11月12日 ▶試験地=東京、金沢、札幌 ▶申込受付期間=9月1日～10月27日（消印有効）▶申込み・問い合わせ=HS K 東日本事務局〒162-0825東京都新宿区神楽坂6-35-1教育センタービル2F（社団法人日本青少年育成協会内）☎03-3269-8413 FAX.03-3269-8414 HSK東日本事務局試験手続センター 〒560-0021豊中市本町5-1-1 ☎06-6857-3397 FAX.06-6857-3399 EMAIL:jiisjyda@apollo.ne.jp



デパート共通商品券 全国で使えるJTBの「ナイスショップ」。

全国のデパートで自由にお好きなものを選んでいただける、JTBのデパート共通商品券「ナイスショップ」。旅のJTBは全国に約1,200店もあるので、ちょっと思いついた時どこでも気軽に求めいただけます。すぐ近くで貰えて、だれにでも贈れる「ナイスショップ」。便利で、みんなにうれしいプレゼントです。

●500円券 ●1,000円券 ●5,000円券の3種類

JTB宇都宮支店 028(622)1803

宇都宮市馬場通り1-1-8

印刷からテレビCM制作まで



必要なときに必要なだけ オンデマンド印刷機

ホームページ制作は当社へ！

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

〒321-0904 宇都宮市陽東5丁目9番21号
TEL 028-662-2511(代) FAX 028-662-4278
URL: http://www.pto.co.jp/ E-mail: pto2@mx1.alpha-web.ne.jp

TIA Information Corner

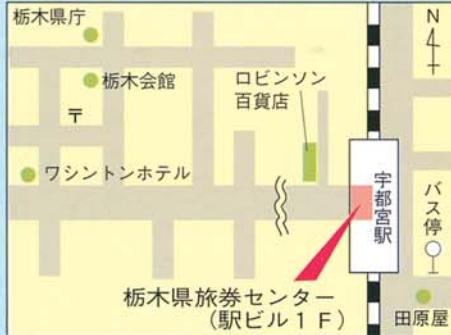
パスポートが日曜日交付になります!!

これまでパスポートは、申請、受領（交付）ともに平日のみの受付でしたが、7月からは「旅券センター」（JR宇都宮駅西口1階）で、日曜日にもパスポートが受け取れるようになります。

- 日曜日は受領（交付）のみで、申請はできません。
 - 日曜日受領（交付）の窓口は、「旅券センター」のみです。（出先旅券窓口で申請した場合は、従来どおり平日の受領（交付）となります。）
 - 日曜日に受け取ることのできるパスポートは、「旅券センター」が予定した受領日がすでに到来したパスポートとなります。また、パスポートの受領は本人に限られます。
 - 「旅券センター」の窓口開設時間は、9:00～16:30です。（土曜・祝日・年末年始は従来どおり休みです。）
パスポートに関する詳しいことは旅券センターにお問い合わせください。

栃木県旅券センター ☎028-638-3811
ホームページ

<http://www.pref.tochigi.jp/kokusai>



○今年も研修員・留学生が入国した。来たばかりで右も左もわからずという状態だが、帰るころには日本語でけんか(?)ができるほど日本語が上手になって帰ることと思う。今年初めて研修員を担当したT嬢は、「私、まるで研修員と同じ!」ともらしていたが・・・。

○今回の世界遺産は、佐々木ニンファさんの協力で、フィリピン大使館から資料をお借りすることができました。本当にありがとうございました。

○とちぎ国際交流センターで開催した世界の子供たちの絵画展には、小学生たちが大勢来館しましたが、これをきっかけに当センターのリピーターとなった小学生も見受けられます。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

TIA日誌

2000年5月1日～2000年6月30日

- 5/9 浙江省総工会訪日団センター視察
 5/12 國際理解教育講演（星が丘中学校）
 5/18 T I A監査（センター）
 5/20 JICA専門家連絡会総会（センター）
 5/21 栃木県青年海外協力隊OB会総会
 （センター）
 5/24 T I A評議員会（センター）
 5/26 T I A理事会（センター）
 6/3 新規留学生のためのガイダンス
 （センター）
 留学生懇親パーティ（ニューみくら）
 6/5 海外技術研修員入国
 6/6 海外技術研修員オリエンテーション
 6/7 海外技術研修員日本語研修開始
 6/10 海外技術研修員ホームステイ開始
 （～24日）
 6/11 栃木県海外移住家族会総会（センター）
 6/13 海外技術研修員知事・副知事表敬
 （県庁）
 6/21 インターナショナルフェスティバル
 2000打合せ（センター）
 6/28 國際交流団体連絡会議（センター）
 6/29 宇都宮市立昭和小、桜小児童見学
 （センター）

第24回評議員会（5/24）・第28回理事会（5/26）における承認事項

- 1 平成11年度財団法人栃木県国際交流協会事業報告について
 - 2 平成11年度財団法人栃木県国際交流協会収支決算について
 - 3 財団法人栃木県国際交流協会寄付行為の一部変更について（理事会）
 - 4 財団法人栃木県国際交流協会副会長の委嘱同意について（理事会）
 - 5 財団法人栃木県国際交流協会役員の選任について（理事会）

国際交流団体連絡会議（6月開催）

- 1 平成12年度財団法人栃木県国際交流協会事業計画について
 - 2 質疑応答・意見交換
 - 3 分科会
 - ①在住外国人支援への取り組みについて
 - ②国際協力活動への取り組みについて
 - ③国際理解教育への取り組みについて

TIA 賛助會員募集中！

賛助会員になっていただきますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使わせていただいており、地域の国際化のために役立っています。

＜新規賛助会員の方々＞

個人：福泉水玲様、菅又千佳子様、チャムパルビス様
～ご入会、ありがとうございます～





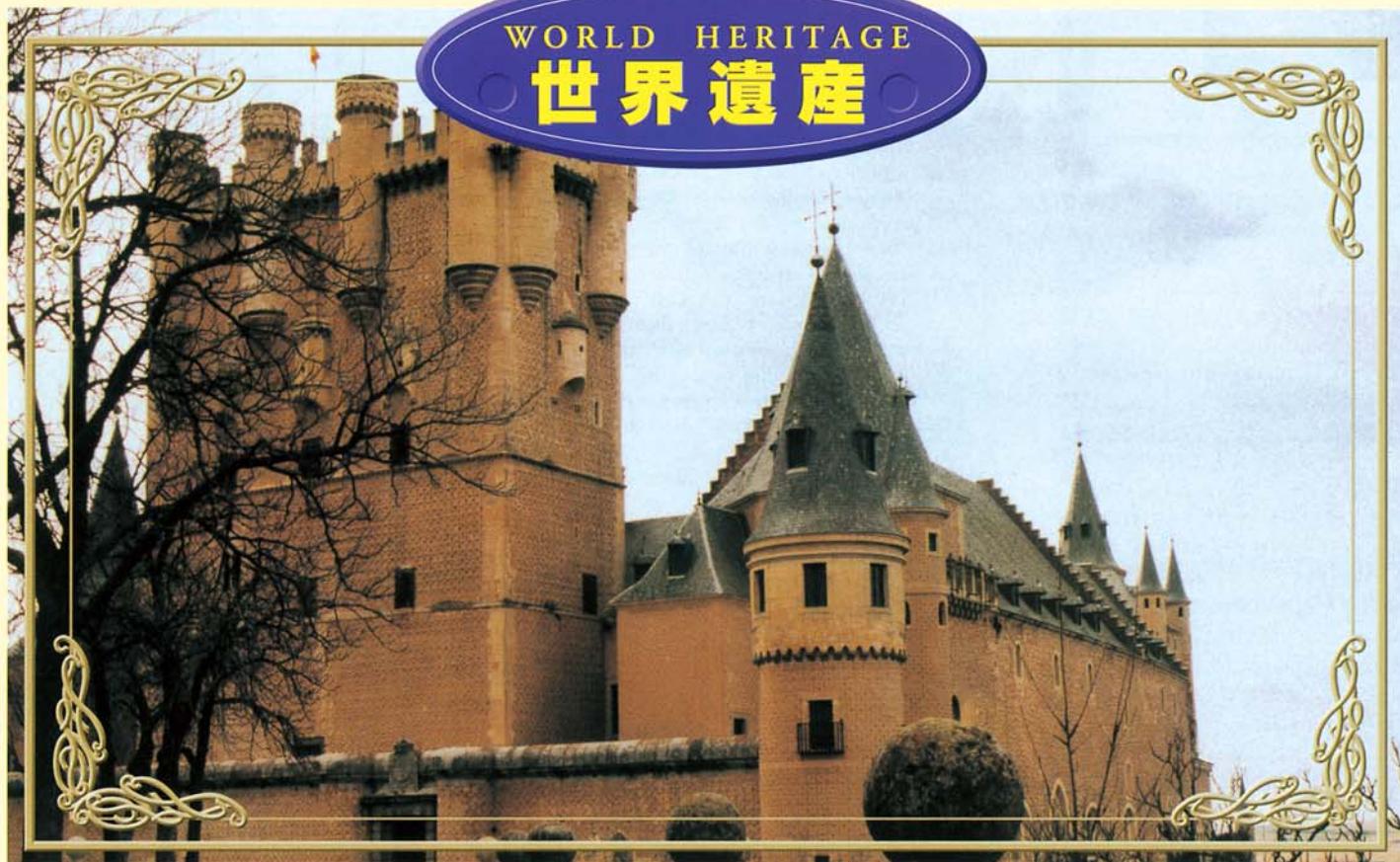
財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association



TIAニュース

やあ!

2000
SEPTEMBER 9
No.69



▲スペイン、カスティーリヤ地方にあるセゴビアの町を見下ろすように建つアルカサルは、1587年に完成し、スペインの城の中でも最も美しいといわれ、ディズニーの「白雪姫」のお城のモデルにもなった。カスティーリヤ国の女王イザベルが即位した城としても有名である。部屋の内部は高価な美術作品で埋め尽くされ、中世から近代にかけての武器の博物館ともなっている。

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO. 18

バヌアツ共和国

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

TIA
Information

・とちぎインターナショナル
フェスティバル2000開催

- ◆ J E T コーナー ポール・ベゾンさん（アメリカ出身）
- ◆ トピックス ▶ フランス・ヴォークリューズ県から
ホストファミリーが来県
- ▶ 栃木県の友好交流員 浙江省へ出発
- ◆ レポート 先生のための国際理解教育実践セミナー
- ◆ ようこそとちぎへ 自治体職員協力交流研修員
- ◆ 国際交流団体紹介 シャープラニールとちぎ架け橋の会
- ◆ 世界の料理 タイ編～ナンプリップラー～

JETコーナー

鳥山町教育委員会
ポール・ベゾンさん
(アメリカ出身)



私はある日本人に、「アメリカ人は朝食に何を食べるの？」と聞かれるよりも、あるアメリカ人に「日本人は朝食に何を食べるの？」と聞かれるほうが嫌いだ。

このようなことを考えると、私を含めた日本に住む外国人は偽善の部分があることに気がついた。例えば、ある日本人が「外国人はみんなこういうものだ。」といえば、ある外国人はイライラしてしまう。しかし、逆にいつも外国人はさまざまな状況で、「日本人はみんなこうする。」と考える。

「私たち」と「彼ら」の間のもっとも大きい違いは、西洋人は自己を大切にし、国民全体がどうするかということを論じない。例えば「私の国ではこんなことやあんなことはしない。」とはあまりいわない。しかしある日本人は個人的に「私の国ではこんなことやあんなことはしない。」と言う。

私はアメリカ人として“銃の社会”から来たとよくいわれる。私はイギリス人をうらやましく思う。なぜなら彼らは本当のことなのに“貧しい食文化の社会”から来たとは言われないからだ。最初に自分の国についての話を聞くとそれが批判的に聞こえてしまう。だから悪い感じで始まってしまう。栃木に来て3年目の今、私は日本についてたくさんのこと学び、また自分の国についても学んだ。実はある一般論のほうが真実よりも人々を安心させることもある。もし一般論がなかったら、ホームシックにはならないだろう。

私の鳥山での生活はすばらしいものである。私の鳥山でできた友達はいろいろな世の中の話題について話をする。一つ例に上げるならば、ビールや野球など。2年の間にいろいろな面白い経験があった。

I constantly find myself tripping over my tongue, re-thinking what I thought about the way Japanese people think and recanting anecdotes with a newer perspective. この文は私がパルコで見かけた10代の女の子のTシャツに書かれていた文で、文法的に間違っている。しかし、日本に住む外国人はこの変な英語が面白いという。また、その時のエスカレーターのアナウンスに“THANK YOU FOR YOUR COMING”と聞こえてきた。外国人が録音したくせに間違った英語を使っているのはおかしいと思った。

The one thing I hate more than a Japanese person asking me a blanket question like “What do Americans eat for breakfast?” is when someone from back home asks me a question like “What do Japanese people eat for dinner?”

In thinking about this I find that foreigners living in Japan, myself included, are an interesting dichotomy : we get easily irritated when a Japanese person makes some generalization about our culture and in the same breath we constantly try encapsulate what a Japanese person does or what the Japanese way is in any given situation. The biggest difference between “US” and “THEM” (I went ALL CAPS for effect) is that Westerners try to see themselves as individuals and seldom say in close quarters that “We don’t do this or that in my country.” While *individually* a Japanese person might say something like “We Japanese do this or that in this here country.”

(This sounds negative. But keep reading. Or don’t.)

Often as an American, I hear that I come from the “Gun society” or *juuno shakai*. In this sense, I rather envy the British because although it’s true, you never hear anyone telling a British person that they are from the “Bad Food Society.” At first when you hear people saying things about your country, it comes off a little critical. So you start to take offense. But here in my third year in Tochigi, I find that along with learning a lot about Japan, I’m finding out a lot about my country. And let’s face it, aside from some generalizations being true, some are actu-

ally comforting. If we didn’t have those generalizations to lean on, we’d never get homesick.

My time here in Karasuyama town has been great. The friends I have made here have stimulated a vast number of conversations on cornucopia of subjects, not excluding, but not exclusive to beer, baseball, and other “b” words. I constantly find myself tripping over my tongue re-thinking what I thought about the way Japanese people think and recanting anecdotes with a newer perspective. That last sentence was written on the T shirt of a teenage girl I saw in Parco while the per-recorded voice on the escalator intimated to me personally, “Thank you for your coming.”

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

平成12年度 自治体職員協力交流研修員

5月28日に入国し日本語教育を受けていた自治体職員協力交流研修員が、6月30日に栃木県に来県した。3月までの8か月間、行政分野における研修を受ける。

- ①氏名
- ②年齢・性別
- ③推薦機関
- ④研修科目
- ⑤研修機関（敬称略）

中華人民共和国



- ①張宏斌
- ②32・男
- ③浙江省杭州市
- ④商工行政分野の地方自治体のノウハウ
- ⑤栃木県商工振興課



TIAライブラリー案内

（貸出のお問い合わせはTIAまで）

●ワーキングホリデーinオーストラリア

若いときに海外に出かけ、見聞を広げ、広く現地の人と接し、考え方や生活、社会の違いなどを肌で体験できることはたいへんすばらしいことです。この本では、誰よりも深く、広く、楽しく学び、人と交流した



いと思っている若者に、先輩たちの体験をふんだんに盛り込んでアドバイスしています。

オーストラリア編のほかに、ニュージーランド編、韓国編、カナダ編、フランス編があります。

（オセアニア交流センター編／株三修社）

●アフリカ音楽探訪 [CD]

このCDは4枚組になっており、アフリカの代表的な民族の音楽を網羅した構成となっています。

ディスク1は、エチオピアとケニアの音楽を、ディスク2は、ウガンダとルワンダの音楽を、ディスク3は、タンザニアの音



楽を、ディスク4は、ザンビアとザイールの音楽を集めています。

このCDは、もともと1971年に発行されたレコードの復刻版のため、その当時の解説書がついており、当時そのままのアナログ音で録音されています。

また、この解説書には、アフリカの民族の楽器などが写真とイラストで紹介されているので、初めてアフリカの音楽に触れる人にもわかるようになっています。

（発売元：日本コロムビア株式会社）

トピックス TOPICS

フランス・ヴォークリューズ県から ホストファミリーが来県

栃木県と友好交流をしているフランス・ヴォークリューズ県の「プロヴァンス・ジャポン協会」の会員6名（2夫婦・2夫人）が、8月17日から26日までの日程で来県した。同協会は、栃木県が派遣している海外研修団員のホームステイを毎年引き受けている。栃木県では、同協会の会員を招き、本県を中心に日本の文化を知る機会を提供している。知事表敬、県内視察の後、元海外研修団員などで作っている「とちぎプロ



▲ペタンクで交流をするホストファミリー

ヴァンス協会」の会員のお宅にホームステイし、友情を深めた。また、この「とちぎ・プロヴァンス協会」主催による意見交換会や交流会、栃木県ペタンク協会の協力により開催されたペタンク日仏交流会などに参加し、県民との交流を深めるとともに、今市市の如来寺や日光市の日光木彌の里で日本文化等を体験した。

栃木県の友好交流員3名が 浙江省へ出発

平成6年度から栃木県が毎年派遣している「浙江省友好交流員」が決定した。今年度は鈴木康子さん、越川学さん、星野絢子さんの3名で、何年かぶりに男性が選ばれた。

鈴木さんは、市民大学等の講座で中国語を1年程学んだことがあるが、中国に行くのは今回が初めてという。また、越川さんは、大学で中国語を4年間専攻していたが、中国行きは初めて。星野さんは、3名の中で唯一現地への渡航歴があり、上海の復旦大学と北京の清華大学に、長期の休みを利用して語学留学した経験の持ち主。

中国に行ってから何をしたいかという問い合わせに対し、鈴木さんは、「日本では味わえない本場の中国料理を味わったり、自分の肌で中国を感じ、地元の人と交流したい」



▲左から鈴木康子さん、越川学さん、星野絢子さん

と語り、越川さんは、「今まで続けてきた太極拳にさらに磨きをかけ、また中国美術に興味を持っているので、ぜひそれを学んできたい。」と大変希望にもえていた。彼の太極拳の実力は、全国大会で賞をとるほどのかなりの腕前の持ち主でもある。また、中国留学経験のある星野さんは、「中国の食文化やお茶の文化に興味があるので、その研究もしてみたい。」と語ってくれた。

3名は、9月5日に日本を離れ、来年の2月まで、浙江大学キャンパス内にある留学生宿舎に滞在しながら、浙江大学国際教育学院で、午前中は中国語や中国文化を学び、午後はそれぞれが選択した講座を受ける予定。帰国後は、学んだ知識や経験を活かし、栃木県が実施する友好交流事業の通訳や地域国際交流活動のリーダーとしての活躍が期待されている。

レポート

先生のための 国際理解教育実践セミナー

今回で2回目となるが、8月10日に中学校の先生を対象に「先生のための国際理解教育実践セミナー」を開催した。

今回も前回と同様、午前と午後の二部に分けて実施した。



▲写真の隠された一部を想像して描く

午前の部ではとちぎ国際交流センターの活用法や国際理解教育の実施に当たって提供できるサービスの紹介を行い、また県内の民間国際交流団体の「シャープラニールとちぎ架け橋の会」と「グローバル・グループ」から、それぞれ活動内容や国際理解教育のためにお手伝いできることなどについての紹介があった。

午後は、実際に教材等を使っての体験学習ということで、ファシリテーターが、教材の使い方や実際の授業での導入方法などを説明しながら、先生方が生徒の立場にたって学習し、四苦八苦しながら問題に取り組んだ。

中には、国名と国旗を合わせる作業など



▲同じテーマで撮られた写真をランクインする

もあり、有名な国は、先生方も良くご存じであったが、アフリカや南米の国になると位置がなかなかはつきりせず、迷っている先生も多く見受けられた。

また、フォトランゲージ（写真を見ながらその写真が語っている内容を考える）では、皆それぞれ熱心に写真を見ながら、思考力を駆使して答えを見つけていた。

最後に、今回のセミナーのまとめとして、内容をふりかえるとともに、今後、国際理解教育をどのようにしていくかの問題点や各学校における環境のちがいなどを発表する機会もあり、参加者のアンケート結果をみると、このセミナーはかなりの評価をいただいたと思われる。



▲ミニ国旗を世界地図の上に置く

バヌアツ共和国

REPUBLIC OF VANUATU

ソロモン諸島の南東に位置し、エスピリトゥ=サント島、タナ島、エフェテ島など80あまりの島からなり面積は日本の新潟県とほぼ同じ広さ。

とうもろこし、落花生、ココヤシ、バナナ、カカオなどが栽培されている。コブラ(ココヤシの果肉を乾燥させてもの)の輸出がさかんで、全体の80%を占める。

国名のバヌアツはメラネシア語で「我らの祖国」の意味。

案内人

渡辺友紀子さん(足利市在住) 足利市立坂西北小学校教諭



教育について疑問を抱き、個人的にミニ留学という形でオーストラリアの小学校を見学したりしていた。現職参加できるチャンスを狙っていたところ、協力隊の活動を知り、応募。

1997年12月から1999年12月までの2年間、バヌアツのエフェテ島にあるパンゴ村のパンゴ公立小学校にて小学校教諭として活動。

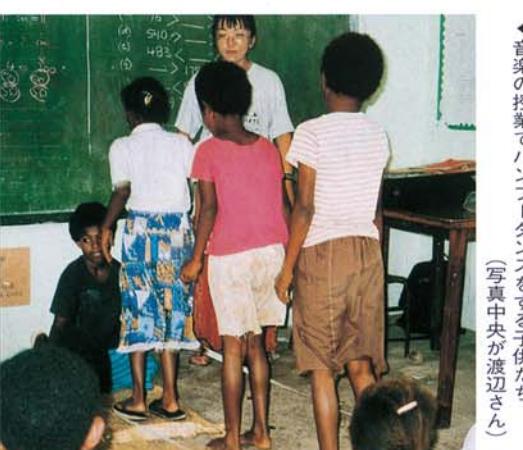
赴任されたが宿舎無し

私の赴任した学校は、人口がバヌアツでも2番目に多い島のエフェテ島のパンゴ村というところにあるパンゴ公立小学校でした。赴任する前はスクールコミュニティ(日本のPTAにあたる)が、私のために家を学校の敷地内に建ててくれるという話でしたが、資金繰り等がうまくいかなかったため、ホームステイを2年間続けました。

日本と違って、教育委員会は財政難なため、スクールコミュニティといわれる組織がバザーを開いて学校建て直しや文具等の購入をし、学校資金を貯って運営しています。

赴任された当初は新学期ということでしたが、赴任予定だった先生が来なかつたために1人先生が足りず、自分が一年生の担任をさせられました。

公用語は英語ですが、現地ではビスマルマ語(ピジン英語のようなもので、英語と仮語の入り交じった独特の言語)が一般的に話されています。しかし、私の受け持ったクラスは、1年生だったため、英語もビスマルマ語も習っていないため話せず、いわゆる村の方言しかできない子供たちでした。



▲大学で音楽の講義をする渡辺さん

で授業を進める上でも意志疎通は難しかつたです。私はボディーランゲージで授業を進めました。

音感のすぐれた子供たち

そういうわけで、私は1年生の担任を1学期間(3か月)続けました。現地の小学校では、専門の社会科を教えるのではなく、音楽と算数を教えていました。

算数は一年生から4年生まで教え、音楽は小学6年までの全クラスを教えました。算数に関しては日本のように系統的にたし



算、引き算などを導入していくという教育方法でないため、日本式の方法を取り入れました。逆に音楽については日本人よりもずっと音感がよく、一度教えれば歌えてしまうようでした。西洋音楽をメインに教えましたが、何曲か日本の歌も教えました。また、学校がリコーダーを40本購入してくれたので、4、5、6年生に教えました。

現地では音楽が正規科目として認められないため、試験的に教えており、正規科目として認められるには、まだまだ先です。

その他、週一回程度、教員養成大学で、音楽の講義を行っていました。また、小学校の先生には、ピアノも教えていました。

パンゴ村ミュージックショー

私が音楽を教えてることで、アイデアを出し、全校生でミュージックショーを開催しました。全クラスが一曲か二曲出し物を出し、父兄も呼んで、バザーで収益を得たりしました。



パンジージャンプ発祥の地

日本でもお馴染みになったパンジージャンプは、バヌアツが発祥の地だったんですよ。現地ではバンドダイビングと呼ばれていて、5月に山のほうで、やぐらみたいなものを作り、木の蔓を足に縛りつけ、30mの高さからジャンプします。元々は成人男性の成人式の儀式だったようです。今でも女性はやってはいけないとされ、上半身裸になって、下で祈りのダンスを踊ります。



▲パンジージャンプ



バヌアツ共和国

▶首都のマーケットの風景



黒魔術は警察より強し…

バヌアツは、他の近隣の国々に比べて治安がよいが、黒魔術の習慣が浸透しています。

バヌアツ国民の100%がこの黒魔術（現地では「ブラックマジック」と呼ぶ）を信じています。一時は法律で禁止するお触れもでたほどです。

人が死んだらそれは誰かが黒魔術をしたからだと言われるほどです。私も自分の髪の毛やあらゆるものを落とすなどと言われました。それを使って呪い殺されるかららしいんです。一度私も財布を落としたことがあるんですが、校長に話したら呪術師か牧師に御祓いしてもらったほうがいいといわれました。日本だったら警察に届けるのが普通ですけどね。

通常、バヌアツでは、村のチーフ（酋長）が政治に関する権限を持っていて、チーフ中丸と呼ばれるところで裁判を開き、問題を解決するのですが、バンゴ村の場合、チーフの力がないので、問題の解決にはならないらしくて、ほとんど裁判は開かれてなかったようです。

宗教心という面では大部分がキリスト教の信者ということで、信仰心が旺盛なため日曜日ともなると子供は日曜学校のために教会に行き、大人は教会の日曜礼拝に出掛けるというのが、一般的な日曜日の過ごし方になっているようです。



▲「ラップラップ」を食べる人々

「カヴァ」 という謎の飲み物

朝食はフランスパンと紅茶という組み合わせが一般的ですが、ほかにバヌアツならではの食べ物もあります。

それは「ラップラップ」と呼ばれる食べ物で山芋、タロイモ、キャッサバをすり潰したものに、ココナッツミルクを混ぜ合わせ、香り付けをして、その混ぜたものをバナナの葉にくるんでちまき状にして蒸したもので、このほかにもキャッサバをすりつぶして、粘りけのある肉まんの皮のようになったものに肉とタマネギをくるんで四角くして蒸した食べ物もあります。

飲み物で変わるのは「カヴァ」という植物から絞り出した茶色の泥水のような絞り汁の飲み物です。お酒とは逆の症状で麻酔のように体がダウンしてきます。目の前が真っ暗になってくるのです。これを飲むと良く眠るために、リラックス作用のある飲み物として寝る前に飲むことが多いです。

また、バヌアツは、島国なため、魚も豊富です。日本と違って色のカラフルな魚も多く、日本では食べない鮫も子供らが捕ったりして、食べています。

バヌアツでは、豚は貴重なものとされていて、特別な行事があったと

きにだけ食べます。

自給自足の生活をしている人が多いバヌアツでは、現金収入がほとんどないのですが、自分たちで畑を作りて殆どの作物を育てているので、自分たちが食べる以外の農作物は首都や町のなかにあるマーケットなどに持っていき、売りさばいて現金に換えるのが一般的です。

このような、大多数のメラネシア系住民のほか、ベトナムや中国から移民で入ってきた人々もいますが、彼らが、多くのバヌアツの経済を握っています。

そのため、暴動なども起きていて、ちょうど、私が赴任したばかりのころもアジア人をターゲットにした暴動が起こりました。当時は赴任したばかりだったので、びっくりした記憶が残っています。



▲サメを捕って誇らしげな子供たち

データ



バヌアツ共和国

- | | |
|--------|--------------------------|
| ① 面積 | 12,189km ² |
| ② 人口 | 18.3万人（98年） |
| ③ 首都 | ポートビラ |
| ④ 主要言語 | ビスマルク語（国語）
英語、仏語（公用語） |
| ⑤ 民族構成 | メラネシア系（93%） |
| ⑥ 宗教 | 大部分がキリスト教
ほかに伝統宗教 |
| ⑦ 通貨 | バツ |
| ⑧ 元首 | 大統領 |
| ⑨ その他 | 協力隊員の派遣数86人
栃木県からは 1人 |

国際交流団体紹介

シャプラニールとちぎ架け橋の会

シャプラニールとちぎ架け橋の会は、本部が東京・早稲田にある「シャプラニール=市民による海外協力の会」の地域連絡会として、県内で活動しています。社会人と学生の比率が1:3ほどで、社会人の知恵と経験、学生の若者パワーとが入り交じり、積極的に活動しています。

(1)月に一度（毎月第一土曜）定例会

第一土曜の1:00PMより、定例会を開いています。内容は、情報交換、イベントの企画等です。誰でも自由に意見が言える雰囲気です。また、会員や関係者が海外協力の現場を訪れた際には、その報告会を行っています。

(2)開発教育プログラムの作成と実施

自分たちの地域で、誰にでもできる開発教育プログラム（当会では「おでかけボランティアスクール」と呼んでいます）を作成・

実施しています。ボランティアスクールの中で、考えたり、ゲームなどで体験したりすることにより、南北問題を身近な問題として理解し、海外協力について考える内容になっています。ご要望に応じて、どちらのもボランティアスクールの出前をします。

(3)シャプラニールキャラバンの招聘

バングラデシュやネパールの現地NGOスタッフを招き、現地の状況を話してもらうだけでなく、展示物や実体験で視覚的、感覚的に感じてもらうよう工夫しています。2000年10月21日(2:00PM ~ 4:00PM)はバングラデシュのストリートチルドレンについての講演会とパネル展示会を開催します。

(4)バングラデシュ・ネパールの手工芸品の販売

TIAのインターナショナルフェスティバル



▲“ボランティアスクール”で、参加者にお話をしているのは学生ボランティア

ル、宮まつり「手仕事市」、宇都宮大学学園祭など、地域のイベントに積極的に参加しています。そうすることで、途上国と私たちのつながりと一緒に考えて行きたいと思っています。

当会の活動には、いつでも誰でも参加できます。活動内容や「おでかけボランティアスクール」に少しでも興味があれば、TIAを通してお気軽にご連絡ください。

シャプラニール=市民による海外協力の会とは？

シャプラニールは1972年に設立された民間の団体で、現在はバングラデシュの貧しい農民の自立のため、約7万人を対象に自助努力のための小さなグループ作りを通じた活動を支援しています。また96年よりネパールの丘陵地帯の農村で活動を開始しました。国内では現地の実情を伝えるとともに、現地の貧しい女性が作った手工芸品を販売しています。

詳しいことをお知りになりたい場合は、ホームページをご覧ください。

(ホームページアドレス)

<http://www.shaplaneer.org/>

世界の料理紹介 ～タイ編～

ナンブリッラー

紹介者



この料理は日本のタイレストランでは食べられないタイの家庭料理です。元気回復に最適な料理ですので、ぜひ皆様もご家庭でお試しください。

[材料]

・サバ（半身）	2枚
・青とうがらし	10本
・玉ねぎ	1個
・にんにく	1個
・ナンブラー（タイの魚醤）	30CC
・レモン	2個
・砂糖（または味の素）	少々
・キャベツ	1/2個
・きゅうり	2本
・なす	2本
・卵	1個
・油	適宜
・一味とうがらし	好み

【作り方】

1. サバを焼き、冷ましたら身をほぐす。
2. 青とうがらし、にんにく、輪切りにした玉ねぎをそれぞれ串で焼く。
3. 2で焼いた材料をすり鉢などで細かくつぶす。（フードプロセッサー／ミキサーで細かくすると簡単）
4. 1と3を混ぜ合わせ、すりこぎでたたき、サバの身を細かくほぐす（写真1）
5. 4にナンブラー、レモン汁、砂糖（または味の素）を加えて、味を整える。
6. 5にお湯を少しづつ加えながら、好みのやわらかさにして完成です。

次はトッピングの作り方

- ・キャベツの葉をゆでて、やわらかくし、輪切りにしたなすに、溶き卵をからませて、



写真1



写真2

油で軽く揚げる。最後に、きゅうりを適当な厚さに切る。（写真2）

【食べ方】

ナンブリッラーをキャベツに包んだり、なすやきゅうりにトッピングして食べる。

好きな野菜やご飯と一緒に食べてもおいしい。

お好みによって、レモン汁や一味唐がらし、レッドペッパーを加えてください。

【作り方のポイント】

タイでは、すりこぎ棒より太いものを使うので、ほどよく材料がなじみやすいですが、日本のすりこぎ棒は細いので、上から突いて潰すようにすると効果的です。サバは小骨が多いので、焼き上がった後、小骨まで抜いてから材料を混ぜるほうがよいでしょう。



▲完成

情報発信 地域の国際交流案内

★2000年ハングル能力検定試験

秋期第15回試験

► 試験日=一次試験平成12年11月5日(日)
 二次試験平成12年12月3日(日) ►願書受付期間=平成12年9月1日(金)~10月13日(金) ►試験会場=札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡(試験地より遠方の学校などは延べ20名以上で準会場を設けることができます。) ►受験資格=国籍、年齢、学歴等の制限はありません。►検定料=1級:10,000円、2級:8,000円、準2級:6,000円、3級:5,000円、4級:4,000円、5級:3,000円►資料請求・問い合わせ先=特定非営利活動法人ハングル能力検定協会 〒106-0041東京都港区麻布台1-11-5 6F TEL.03-3568-7270 FAX.03-3568-7271

★第二回国際連合公用語英語検定試験

国際連合公用語・英語検定試験は、日本国際連合協会の事業の一環として、1981年に発足いたしました。

試験は外国語をくじして国際人として活躍できる能力と序位式などをどの程度体得しているかをテストすることを目的として実施されます。同時に試験を通して国際連合に対する一般的な理解を深めることも重要な目標としております。

► 試験日=第1次試験: 平成12年11月12日
 第2次試験: 平成13年1月14日 ►申込期間=平成12年8月7日(月)~10月11日(水) ►受験地(36都市)=札幌・青森・

秋田・仙台・郡山・水戸・宇都宮・前橋・大宮・千葉・東京・練馬・松本・国分寺・横浜・相模原・甲府・静岡・名古屋・新潟・長野・津・金沢・京都・奈良・大阪・神戸・松江・岡山・広島・高松・福岡・長崎・熊本・鹿児島・那覇 ►検定料=特A級:7,300円、A級:5,100円、B級:4,000円、C級:2,800円、D級:1,600円、E級:1,300円(併願受験も可能。但し必ず一枚の申込み用紙で申し込むこと。) ►詳しい問い合わせ先=国連英検試験センター TEL.03-3363-8961受付時間: 祝祭日を除く月曜日~金曜日9:30 AM~5:30PM <http://www.unate.or.jp/> インターネットでも申込みを受け付けています。

★南米日系人労働者のための研修会および日本語講習会

►日時=平成12年11月19日(日)13:00~14:00(日本語講習会) 14:00~16:30(合同研修会) ►場所=山王会館(真岡市並木町3-2-8 TEL.0285-64-4188) ►研修内容=ポルトガル語、スペイン語による研修、職場で役立つ基礎会話、職場で働く上で知りたいこと、日頃の悩みや疑問相談。 ►参加料=無料(各種ガイドブック配付) ►問合せ=財産業雇用センター栃木事務所 TEL.0285-64-4188

★Orientação aos trabalhadores nikkeis latinos e Aula de japonês (em português)
 Data: 19 de Novembro de 2000. (domingo)
 Horário: 13:00-14:00hs. (Aula de Japonês)
 14:00-16:30hs. (Seminário)
 Local:SANNOU KAIKAN (Tochigi-ken Moka-shi Namiki-cho 3-2-8 TEL:0285-84-4188)
 Objetivo:Diálogos úteis no trabalho.
 Oferecer informações sobre assuntos trabalhistas. Esclarecer dúvidas sobre assuntos cotidianos.
 Taxa de participação

Gratuita (Distribuição gratuita de livros de orientação)
 Informações: Centro de Estabilização de Emprego nas Indústrias
 Nikkeis Tochigi TEL:028-623-6335

TIA日誌

2000年7月1日~2000年8月31日

- 7/2 国連英語検定一次試験(センター)
- 7/4 自治体職員協力交流研修員理事長表敬、海外技術研修員健康診断
- 7/5 海外技術研修員研修機関配属(日本語研修1か月コースの者)
宇大附属小学校児童センター見学
- 7/8 県費留学生・海外技術研修員歓迎会(主催: 栃木県海外移住家族会・栃木県JICA専門家連絡会/宇都宮市ニューミクら)
- 7/12 中国・浙江病院医療交流考察団来県(~26)
- 7/25 南那須町立江川小学校教員センター見学
- 8/2 日仏青少年短期研修事業実施委員会(センター)
- 8/2 海外技術研修員研修機関配属(日本語研修2か月コースの者)
- 8/10 先生のための国際理解教育実践セミナー(センター)
- 8/17 フランス・ヴォークリューズ県ホストファミリー受け入れ(~26)
- 8/19 海外技術研修員、国際交流ウィークエンドin馬頭に参加(~23)
- 8/20 国連英語検定第2次試験(センター)
- 8/21 中・高校生国際交流体験ツアー(中国・浙江省~26)
- 8/22 浙江省に派遣する友好交流員理事長表敬訪問(センター)

 **宇都宮←成田空港**
(直通高速バス マロニエ号)

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分!

●柳田に専用駐車場(150台)完備		1日200円
●運賃・片道 柳田(柳田大橋西)発		JR宇都宮駅発
大人	4:20 9:15	4:40 9:40
4,070円	4:50 10:35	5:10 11:00
小人2,040円	5:50 12:05	6:10 12:30
15名様以上団体割引	6:35 13:35	7:00 14:00
	8:05 15:05	8:30 15:30
成田空港発		
		8:10 15:40
		9:40 17:00
		11:10 18:10
		13:10 19:40
		14:40 20:50

●お問合せ・ご予約はマロニエ予約センター
 ☎(028)638-1730

関東バス



朝一番情報満載!!
とちぎ
 月~金 7:00~8:55
 ホームページ <http://www.tochigi-tv.co.jp>

日光アイスバックス 全40試合放送! 10/7~3/24



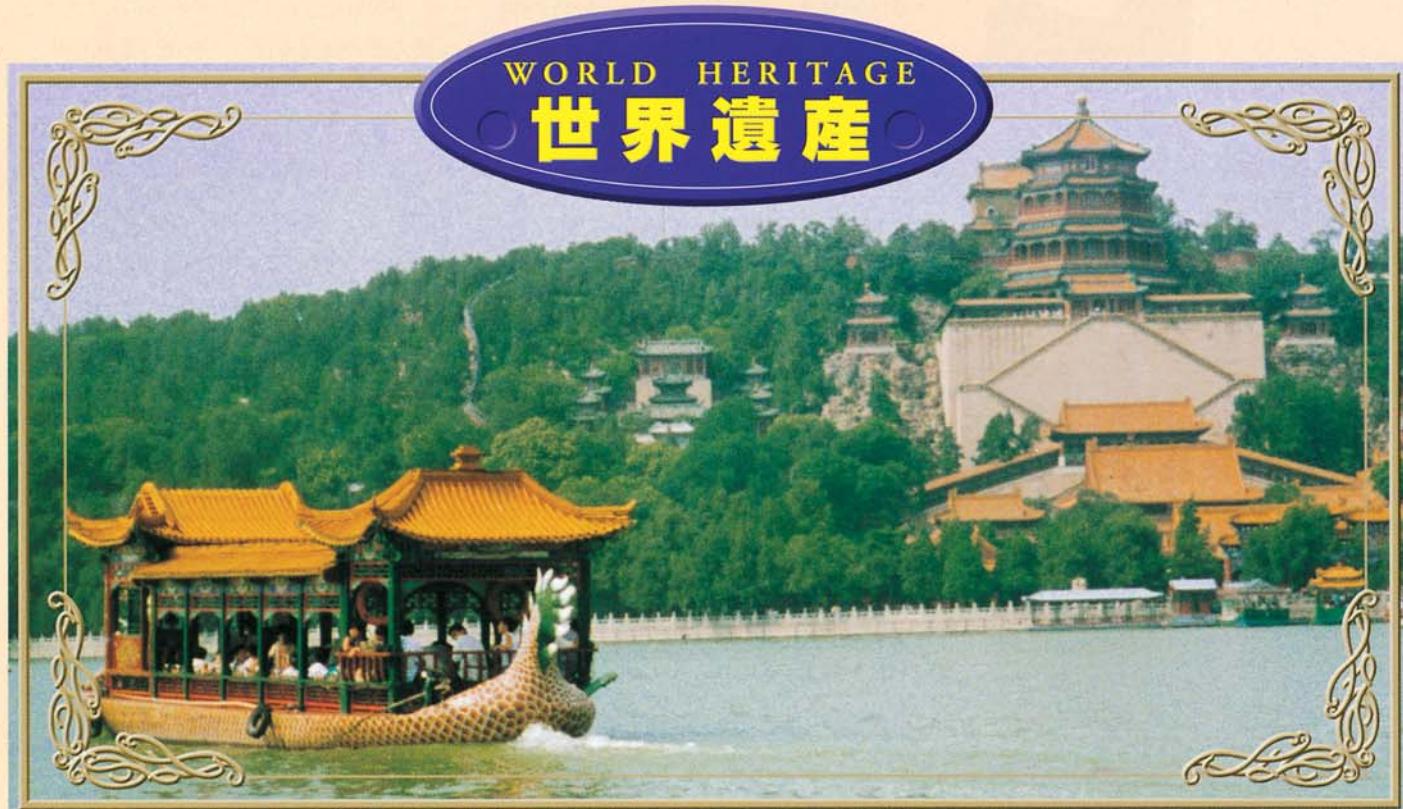
TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

2000 NOVEMBER 11
No.70



▲頤和園は、中国北京市中心部から西北15kmにある高さ58.59mの万寿山と昆明湖からなる中国の典型的な庭園で、面積は290ha。そのうち水面が4分の3を占める。西太后が愛用した離宮といわれる。英語名では「サマーパレス」と呼ばれ、中国で最大規模の皇室庭園。写真の中央の八角形の建物は、「佛香閣」と呼ばれる木造3階建ての建物で、頤和園のシンボル。(写真提供：李建軒様)

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO. 19

エルサルバドル共和国

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

◆ J E T コーナー カービー・マイナーさん（アメリカ出身）

◆ レポート 第1回中・高校生国際交流体験ツアー

◆ トピックス ▶フランス・ヴォークリューズ県から
大学生と高校生が来県
▶浙江省青少年民族音楽団が本県で公演
▶小学生がインターネット体験

◆ あの店この店 中国茶専門店「茶縁」

JETコーナー

外国语指導助手
カービー・マイナーさん
(アメリカ出身)

柔道選手として日本に住んでいて良かったことの一つは、最高の選手が集まるスポーツの祭典オリエンピックを見ることが出来たことだ。私がアメリカにいたら、決勝戦を見るためには徹夜で頑張らなければならなかったはずだ。しかし、日本ではノーカットで全ての競技を見る事ができた。シドニーとあまり時差がなく、スケジュールの上でもついていたので、生中継のテレビ観戦にとりわけ熱が入った。

高橋尚子選手がマラソンで金メダルを取り日本が湧いている最中、私は柔道で銀メダルを取った篠原真一選手に感動を与えた。フランス人のダビド・ドイエ選手に篠原選手が負けた。その勝敗には誤審との見方が多く、実際には篠原選手の一本勝ち、金メダル獲得という形で試合は終わっていたはずにも関わらず、フランス人選手が有効を取った結果になった。私が最も感動し



たのは次の点である。多くの人々は、判定直後、審判への抗議や銀メダル拒否を彼に期待したが、篠原選手はコメントを控えた。その後彼は、弱いから負けたとコメントした。このような言動を残せる強さこそが、金メダルよりも価値があると私は思う。

Kirby Minor

One perk of being in Japan, as a judo player, is that I was able to watch the most highly competitive athletes in the sport battle it out in the ultimate competition: the Olympic Games. If I had been in America, I would have been lucky to see highlights of the final matches and that is if I stayed up all night waiting for it. In Japan I saw every match uncut. With Sydney's time zone and a little luck in the scheduling I had the extra excitement of watching it live.

While Japan has been inspired by the marathon gold medal victory of Naoko Takahashi, my inspiration is being drawn from a judo player who won the silver medal, Shinichi Shinohara. Shinohara lost to Frenchman, David Douillet. The loss was highly controversial because the Frenchman was mistakenly given credit for a throw when in actuality it was him that was thrown. To make matters worse the throw by Shinohara was perfect which would have ended the match, rightfully earning him the gold medal. What inspired me was the reaction

of a man who unfairly lost the gold. Most of us would have expressed our outrage immediately after the injustice or even refused the silver medal but Shinohara waited to make any kind of statement and when he did he said that he lost because he didn't train hard enough. Showing that kind of strength in character is more precious than gold.

コラム 中国の食文化 ~薬膳~

中国料理と言えば、世界的に有名ですが、漢方薬の薬材を使った料理「薬膳」があります。中国では昔から冬には精のつく食べ物を食べる習慣があります。特に冬至の前に食べるのが良いと言われ、当帰や枸杞の実を入れ、鶏肉と一緒に煮たりしてこのスープを飲みます。中国では、夏はあひるの肉を好んで食べますが、冬は鶏肉を食べます。その中でも、烏骨鶏の肉を食べるのが一般的です。「当帰」は寒冷地に生える高山植物のせりの一種で悪い血が浄化されてきれいな血に戻るといわれ、女性にはこの植物が合うと言われています。また「枸杞の実」は、栄養のバランスを改善し、新陳代謝を促し、免疫力を回復させるという効果があり、腎臓の機能を助け、視力の衰えを予防する滋養強壮の効果があるといわれ、男女とも効果のある植物です。

■TIAライブラリー案内■

(貸出のお問い合わせはTIAまで)

●世界の教科書にみる「日本」



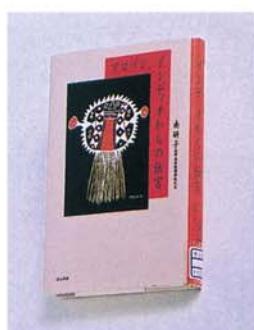
世界の国々の人々との相互理解を促進し、友好を築いていくためには、過去、特に近・現代において諸外国との間で起こった出来事を、それらの国々の人々がどのようにとらえているかを理解することが重要であると思われます。

この「世界の教科書に見る日本」シリーズは、改めて自国の歴史を顧み、「外からみた日本」の歴史を知ることのできる一冊です。

中国編、韓国編、ベトナム編、アメリカ編、フィリピン編からなり、5か国語の対訳形式。その国々の近・現代史をも同時に理解できる本です。(国際情報サービスセンター編・発行)

●アマゾン・インディオからの伝言

減少を続ける熱帯雨林。その森を守る先住民たち。インディオ保護区に生きる、貨幣経済も文字も無い人々との11年間に渡る



交流を綴った記録。これは、現代人の心を癒し、文明そのものを見直す精霊たちのドラマです。

作者の南研子さんは実際にアマゾンに赴き、体験をされてきました。

NGOに関心のある方にもない方にも、ぜひ一度読んでいただきたいと思います。(熱帯森林保護団体南研子著／株式会社ほんの木発行)

レポート

第1回中・高校生国際交流体験ツアー

今年の夏、初めて「中・高校生国際交流体験ツアー」を実施した。

参加したのは、県内の中・高校生14名。一行は8月21日～26日の6日間、中国を訪れて、地元の中高校生との交流や一般家庭訪問など、異文化体験を満喫した。訪問先は、栃木県と友好関係にある浙江省及び上海市。

今回のツアーは、初対面同士の中学生と高校生の混合ということもあって、少々固い雰囲気でスタートした。

初日の8月21日（月）、ほとんどの参加者が外国に行くのが初めてで、最初に訪れた上海の広さと混沌とした状況に少々圧倒され氣味に、中国での第一歩を踏んだ。

その日の夜は、雜技を鑑賞し、多彩な技に歓声を上げた。

翌日は、バスで3時間かけて浙江省の安吉県へ向かった。高速道路を抜けてさらに奥に進むと、舗装されてない砂利道を通り、商店街を通り抜けたりと、また一味違った中国の風景を目にするながら、「ここに住んでみたい」などともらす生徒もいた。昼食後、上墅私立高級中学校を訪問。校長先生を始め、日本語を専門に学んでいる約40名の中国人生徒に拍手で迎えられた。

教室に入り、意見交換会を生徒同志で始めた。司会は中国側の女子高生。ハッキリとした日本語で「将来の夢」や「好きなもの」などをみんなに発表するように促し、積極的に手を挙げて話す中国人生徒には、大変驚かされた。始めは恥ずかしがっていたツアー参加者も、部活動の写真を見せたり、中国語で挨拶を披露するなどして、徐々に打ち解けあっていった。最後は日本で流行している歌をリクエストされ、全員前に出てモーニング娘の「ラブマシーン」を振り付けで歌い、大いに盛り上がった。その日の夜、郊外の「竹種園」という大きな公園で、上墅私立高級中学校の生徒と共にゲームや歌を楽しみ、最後は輪になって踊り、これを機に本当に仲のよい友達になれたようだった。

次の日の8月23日（水）は中国人生徒の家庭を訪問した。このときもやはり生徒同志のみで5人ずつのグループに分かれ、

別々の家に行った。部屋を一つ一つみせてもらい、台所やお風呂場まで案内され、家庭料理もごちそうになった。「ホテルの食事よりおいしい」と話す参加者もいたほどで、本当に暖かく迎えていただいた。各家庭に分かれた参加者は、中国人生徒と、思い思いにホテルへ戻ってくることになっており、人力車で帰ってくるグループもあったりと、それぞれ工夫して、全員無事にホテルへ集合することができた。それから学校に戻り、書道の授業を受けた。先生の話を中国人生徒が日本語に通訳してくれたので、熱心に話を聞くことができた。そして、いよいよお別れのときがやって来た。

記念に配られた扇子にお互いの名前を書き、別れを惜しみ、泣き出してしまう生徒もいた。

この2日間の学校での交流の模様は、浙江電視台（テレビ局）や地元ラジオ、新聞社等も取材に来ていた。

ツアーの後半は、杭州市内の観光。西湖を遊覧船で巡り、きれいな風景に感動した後、淨慈寺、茶畠などを見学した。

翌日の8月25日（金）は、列車で上海へ。豫園を見学したり、お土産用の買い物を楽しんだりした。

今回のツアーを通して、参加者は積極的で明るく、どんどん話しかけたり、中国人生徒とすぐに友達になったり、観光途中で出会った香港やインド、スペインからの観光客とも、片言の英語で会話したりしていた。また、買い物のときの、安くいいものを見分ける力や値切る力は逞しかった。水道水が飲めないことやバースポーツ等を自分で管理することなど、とまどうこともあっただろうが、今回初めてのいい経験として学ぶ部分も多かったであろう。

参加者全員から、有意義な6日間だったと満足の声が寄せられた。その中の一人、小出智美さん（宇都宮短期大学付属高校1年）は次のようにコメントしてくれた。「私がこのツアーに参加するときには大きな課題があった。それは本当の国際交流とは何かということだ。中国ではみんな私たちを笑顔で迎えてくれ、話しかけてくれた。そして日本語や日本について学んでいたことには驚いた。言葉が通じなくても目を見ればわかりあえるということもこの時知

った。交流するということは、お互いの文化を理解しあい、自分からアピールしていくことだということを学び、大きく成長できた6日間だった。中国の友人に負けないくらい勉強をして、またみんなと会いたい。」



▲中国の家庭を訪問（広いリビングで、クーラーも大きい）



▲家庭料理（とてもおいしい）



▲夜の「竹種園」での交流イベント



▲上墅私立高級中学校で、お別れのメッセージ交換

エルサルバドル共和国 REPUBLIC OF EL SALVADOR

中央アメリカの中央部に位置し、西部は太平洋に面している。面積は日本の四国よりやや広いが、中央アメリカ諸国では最小の国。火山や湖が多い。

人口の大部分が農業に従事し、コーヒー、サトウキビ、綿花を主に栽培している。中でもコーヒーは最大の輸出商品である。

国名のエルサルバドルは「救命主」の意味。16世紀の前半にこの地を占領したスペイン人が命名。

現地ではホームステイ

私の勤務地は首都サンサルバドルでしたが、住まいは、首都からバスで1時間ぐらいの場所にあるソヤパンゴ市の現地の家族のところで、ホームステイをしていました。

この家族は自分が探したわけではなく、現地のJICA事務所が探してくれたのです。この家庭はエルサルバドルでもかなり裕福なようでメイドもいました。

最初に困ったのはやはり言葉の問題でした。スペイン語圏ということでコミュニケーションをとるのにかなり苦労しました。エルサルバドル赴任前にも勉強していましたが、現地でも1ヶ月くらいスペイン語の勉強をしました。その結果日常生活程度のコミュニケーションはとれるようになりました。自分の場合は、友達になって話が通じるようになるという感じでしたが、やはりホームステイのときは、自分の意思が通じなくて、なかなか言いたいことを伝えるのが難しかったです。なんとなく相手に無理やり要求しているような感じになってしまいました。人より時間はかなりかかりましたが、結果的になんとかスペイン語で話せるようになりました。



首都のサンサルバドルの風景



森林課は日本の営林局

現地では、天然資源局の森林課に所属していました。ここは日本で言えば、営林局や林野庁のような部署で、主に林野行政を行っています。

エルサルバドルは森林破壊の激しい国ですので、現地での私の業務は、植林のための種集めが主な仕事でした。種をとるための場所を探して、採取し、地域の役場等行政機関に供給しました。また、現地でのニーズも調査し、どういう機関でどのような需要があるのかということも調査したり、



データの分析や整理統計等も行いました。

また、この業務とは別に、現地のNGOと一緒に地方の農林地帯を直接訪問し、行政の立場から実際のNGOの活動における問題や不足点、住民の意識などの実態調査も行い、各行政機関に現状報告をしました。

現地の勤務は、行政機関ということで、完全週休2日制で、キリスト教国家のため、イースターやクリスマスや記念日等の祝日ももちろん休みでした。また、基本的には残業はなく、朝8時から午後4時までの勤

案内人



牛沢 理 さん (宇都宮市在住・33歳)

応募の動機は、知り合いの協力隊OBの方々を見て。元々海外には興味があり、しかも兄弟も協力隊のOBだったこともあって、その影響で、協力隊の海外での活動ぶりを聞き、応募した。

1996年7月から1998年7月までの2年間、エルサルバドルの行政機関である農牧省の天然資源局の森林課に配属。職種は森林保護。

農政省
の建物
・エルサルバドル市に
ある・
ソヤパンゴ市に
ある
天然資源局

務体制でしたが、他の近隣諸国に比べてエルサルバドルの人は良く働くため、昼食の時間は約1時間しかありませんでした。

エルサルバドルの主食

エルサルバドルでは、トウモロコシをパンのように焼いて食べるのが一般的です。メキシコなどトルティーヤと同じようなものを主食としています。

南米諸国とちがうのは、エルサルバドル

作る女性
▶「トル
ティーヤ」
を



の人はほとんど生野菜を食べません。主に豆類を食べ、日本の小豆のようなフリーフォーレスと呼ばれている豆をよく食べます。特にエルサルバドルのボピュラーな料理は「プサ」といわれる食べ物で、トルティーヤの中にフリーフォーレスやチーズや牛肉を焼いて切ったものをはさんで食べます。

肉料理は牛肉が主で、フライパンで焼いたものが多いです。

朝食は、パンと卵とミルクかコーヒーですが、パンはフランスパンのように固いの



▲「イースター」の祭りの様子



▶地域の市場の風景



を食べます。また、ミルクはホットミルクで、冷たい牛乳は飲みません。

フルーツは南国ということで、パパイア、マンゴー、パイナップル等がとれます。

エルサルバドルは混合文化

先住民族のマヤ民族とスペイン系白人の混血が多いため、エルサルバドルでは、キリスト教関係の行事等が盛んに行われています。この国では長い内戦があった影響で民族の伝統的な文化が消滅してしまいました。

エルサルバドルにもマヤ遺跡がありますが、このことはあまり知られていません。

また南米ではまだ残っている原住民の言葉も、この国では一部でしか残っていない、スペイン語で統一されています。

また、エルサルバドルは日本に良く似ています。

国土がせまく、天然資源もなくて、近隣の中米諸国とはちがう特色を持っています。しかし、経済は強く、発展が目ざましく、町のなかは活気に満ちあふれ、アジアの国のようなパワーがみなぎっていて、エネルギーです。

日本に似ているといわれるのも、それはこの国の国民性にもあります。日本人と同じように働き者で、他の国にあるような「シエスタ」(昼寝)の習慣もこの国には存在しないのです。



▲先住民族たちの花のまつり「フェスタ・デ・ラス・フローレス」

ゲリラが政治家

この国には内戦があったため、当時内戦でゲリラとして活動していた人たちが、新しく政党をつくったりしているのも特色です。

彼ら政府要人は、日本へいろいろな研修にきています。

現在、エルサルバドル国内のNGOの活動地は、内戦前は綿花の産地でした。内戦のため、これら自然が破壊され、内戦後になんでも不毛の地帯だったため、誰もここに入ることはありませんでした。そのため、NGOがこの地に入り込み、農民組織等を作って、以前のような自然環境を取り戻すために様々な活動を行っています。

今では、アメリカ人やオーストラリア人なども来て、自然を取り戻すための活動を行っています。

この国ではいろんなところでユーカリの木がありますが、これはオーストラリア人が種を持ち込んだといわれています。

あちこちで、このユーカリの木をとる光景が見られます。このやり方は、梯子で上方に上り、枝ごと種を落とすのです。

環境破壊の大きい国ですが、産業としては、この国では、コーヒーが輸出用に生産されています。しかしながら、現地ではこの美味しいコーヒーを口にすること

とはまずありません。主要産業のコーヒーが外国にいかなくては飲めないです。

◀ユーカリの種を採取



◀ゆるやかな傾斜の農耕地

お酒はウォッカ

エルサルバドルは中米なので、お酒というと、やはりビールかなと思う人も多いと思いますが、人々は主に、ウォッカを飲んでいます。確かにビールも無いわけではありませんが、バーなどでは、ウォッカが売られています。そのままストレートで飲むという人は少なくて、殆ど人が、炭酸で割ってレモンを入れたりして飲みます。

ここではウイスキーが高いため、ウォッカが庶民の一般的な飲みものとなっています。

データ



青、白、青の横二色旗。中央の紋章ではほかの中米諸国との区別する。紋章には中米5か国を表す山、虹の絵や「神、団結、自由」の文字等がスペイン語で書かれている。1912年制定。

エルサルバドル共和国

- | | |
|--------|---------------------------|
| ① 面積 | 21,041km ² |
| ② 人口 | 603万人（98年） |
| ③ 首都 | サンサルバドル |
| ④ 主要言語 | スペイン語（公用語） |
| ⑤ 民族構成 | メスティーソ（89%）
インディオ（10%） |
| ⑥ 宗教 | カトリック（93%） |
| ⑦ 通貨 | コロン |
| ⑧ 元首 | 大統領 |
| ⑨ その他 | 協力隊員の派遣数208人
栃木県からは3人 |

TOPICS

フランス・ヴォークリューズ県から 大学生と高校生が来県

今年で8年目を迎えるフランス・ヴォークリューズ県からの大学生及び高校生の受け入れ。大学生は10月16日から26日までの10日間、高校生は10月30日から11月11日までの13日間、それぞれ受け入れられた。

来県した大学生は、アヴィニヨン食品産業経営高等学院で食品流通を勉強しているファブリス・トゥラヴァサックさんとスィルヴァン・ビトゥラさんの2名。ヴォークリューズ県の特産ワインの販売促進のために、東京のフランス大使館で関東地域の輸入業者を招いて試飲説明会を行ったほか、都内や県内のワイン小売店で市場調査をし、また、本年度、栃木県で開催された全国都市緑化とちぎフェア（マロニエとちぎ緑花祭）の会場で、ワインの展示・試飲会を行った。

一方、高校生はヴォークリューズ県議会のプティ・パトリシアさんの引率のもと、女子生徒5名が来県。入国後県内外視察を経て、メインプログラムの作新学院高等部での体验通学やホームステイを行った。

▼作新学院高等部での書道の体験学習。



浙江省青少年民族音楽団が 本県で公演

栃木県で開催された全国都市緑化とちぎフェア（マロニエとちぎ緑花祭）で公演するため来県した。10月28日、29日の両日、壬生町と宇都宮市の両会場で公演を行い、また佐野市文化会館でも30日に公演を行った。

今回の団員は、駱介礼団長以下、コーチ、通訳を含む計17名。浙江芸術学校の学生で、会場では中国の民族音楽を始め、伝統劇である「越劇」や中国舞踊などを披露し、大きな喝采を浴びた。



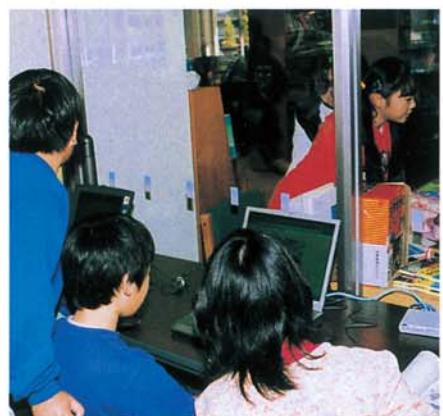
▲公演する浙江省青少年民族音楽団

小学生がインターネット体験

総合的な学習の時間の一環として、10月21日と24日に、宇都宮市立見宝小学校の児童たちが当センターを訪れた。

児童たちは担任の先生とともに、自分たちの調べたいテーマをあらかじめ決めて来所し、図書室やインターネットで情報収集を行った。

また、去る10月19日には、外国人から母國の説明を聞いたりする機会を持ちたいということで、宇都宮市立城東小学校から児童ら74名が来所し、当センター職員のブラジル出身の石川アンナさんと、県国際交流課に勤務している中国出身の国際交流員の施華忠さんから、それぞれの国の様子や子供たちのゲームなどを教えてもらったり、実際に遊んでみたりして楽しんだ。



▲熱心に情報を収集する児童たち

こんな店 あんな店

中国茶専門店「茶縁」

宇都宮市のオリオン通りに、8月、中国茶とお菓子の店「茶縁」がオープンした。市内にはこのような中国茶の専門店がなく、店長の藤飛さんの奥さんが宇都宮市出



▲入口をはいったところにある中国茶のコーナー

身ということもあって、この地に店を開いた。

店内はまさに中国の茶館をイメージした作りで、入口近くには中国茶が置かれ、これは販売もされている。

茶縁に置かれているお茶の種類は40種類以上。ウーロン茶、緑茶、白茶、黄茶、紅茶、更には健康茶まである。一言で中国茶といつてもいろいろな種類があり、日本人に人気のあるウーロン茶も、觀音王、武夷肉桂、黄金桂といろいろ種類があり、それ香りも味も違うという。他にも銀針白毫とよばれる白茶や茉莉金蓮というジャスマシンもよく飲まれるそうだ。

飲むときには、それぞれのお茶に合わせた容器で出してくれるという。例えば、緑茶の場合は、お茶の葉と香りを目で楽しむという観点からガラスの容器で飲み、ウーロン茶は工夫茶といって、中国式茶道というものに従って小さい器で香りを楽しみながら味わう。紅茶の入れ方も中国式の入れ

方と西洋式の入れ方の二種類があり、お客様からは中国式の入れ方のほうが人気があるという。お茶のほか、ワンタン、小籠包、ゴマ団子などの点心もあり、お昼は飲茶のランチサービスも行っている。ぜひ、お友達とのちょっとした待ち合わせやおしゃべりの場として訪れてみては。

▶住所・電話=宇都宮市曲師町5-1 大島ビル 1F TEL028-637-5587 ▶営業時間=11:00~20:00 (ランチタイムは11:00~14:00)



情報発信 地域の国際交流案内

★第4回国際協力大学生論文コンテスト
▶論文内容=開発途上国に抱える課題克服に向けた国際協力の取り組みに関するこ^トについて、「開発援助」「環境」「貧困」「教育」「人口」「WID(開発と女性)」「農林水産業」「保健・医療」「工業開発」「参加型開発」から選び、論じてください。なお、人文・社会科学・自然科学などの領域は問いません。技術論に特化した内容も受け付けます。▶応募資格=平成12年度9月15日現在、大学学士課程もしくは修士課程に在籍中の方。国籍は問いません。▶応募規定=和文または英文にて執筆のこと。(和文の場合)12,000字以内。ワープロ使用の場合はA4サイズ1枚につき横40×縦20行。手書きの場合はA4タテ、400字原稿用紙、横書。なお、A4サイズ1枚に記された図表は400字とみなします。(英文の場合)4,200語以内。A4サイズ・ダブルスペース(24行/頁)。A4サイズ1枚に記された図表は140語とみなします。▶募集期間=平成12年9月15日(金)~平成13年1月10日(水)(必着)▶入賞発表=平成13年4月。入賞者には、直接文書にて通知いたします。また「国際協力」(国際協力事業団発行)誌上においても発表、掲載いたします。▶問い合わせ及び応募先=〒163-0489東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル内私書箱300号財日本国際協力センター広報部内「JICA国際協力大学生論文コンテスト」係TEL03-5322-2541 FAX03-

5322-2541
JICAホームページ
<http://www.jica.go.jp/email:ronbun@jica.org>

★サンフランシスコNPOボランティア
体験プログラム
アメリカ社会のしくみやNPOを総合的に取得できる体験型トレーニングを通して、青少年のNPOセクターに対する総合的な理解と活動意欲を満たすとともに、国際的な視野を備えたグローバルな人材育成を目指す。▶内容=セミナー受講やNPO訪問、ボランティア活動、ウォーキング・ツア、フィールドトリップ、ゲストスピーカー付のディスカッションなどを通して、NPOやNPOが置かれているアメリカの異文化社会を体験しながらアメリカの市民セクターを学ぶ。▶実施場所=米国サンフランシスコ・ペイエリア▶実施期間=第一回目:2001年2月8日(木)~3月1日(木)第二回目2001年3月8日(木)~3月29日(木)▶募集人数=10名(最少催行人数5名)▶参加費=24万8000円より。▶応募締切=2000年12月18日(月)必着▶募集対象者=学生や社会人で、NPOのボランティアやインターンシップ、アメリカの文化に興味がある人。また、NPO活動に興味を持っているが専門的な知識や活動経験がないため、次のステップに移せないでいる人。実務経験不問。海外旅行ができる程度の英語力が必要。▶主催・問い合わせ先=日本太平洋資料ネットワーク(JAPAN PACIFIC RESOURCE NETWORK)〒104-0061東京都中央区銀座8-12-11第2サンビル6F TEL:03-3524-8821/FAX:03-3524-8825 EMAIL:jprntky@d2.dion.ne.jpホームページ:<http://www.jprn.org/>

★ピースボート～南回り地球一周
地球各地の寄港地のNGOや学生たちと交流しながら、草の根交流をするクルーズ。最新クルーズは2001年1月16日~4月18日(93日間)のクルーズ。▶予定寄行地域=アジア・アフリカ・南米・大洋州▶資料請求先=ピースボート事務局〒169-0075東京都新宿区高田馬場3-13-1ノーベルビル4階 TEL:03-3363-7561 FAX:03-3363-7562 email:XLC00501@nifty.ne.jpホームページ <http://www.peaceboat.org/>

★スタディーツアー参加者募集
▶派遣先=スリランカ(中央州)▶派遣日程=2001年2月21日~3月8日▶事前研修会=2000年12月16日~18日、国立オリンピックセンター(小田急線・参宮橋駅下車)詳しい研修内容の説明、スライド上映等。▶主催・問い合わせ先=アジア交流研究所〒113-0033 東京都文京区本郷2-24-1 本郷NYビル101 TEL&FAX 03-5840-9566ホームページ <http://www.asia3.com/> email:asia3@asia3.com▶後援=スリランカ大使館

★東日本国際協力セミナー
地球市民として生きよう!
▶日時=平成12年12月2日(土)13:10~3日(日)14:45▶場所=国際協力事業団二本松青年海外協力隊訓練所(福島県二本松市)▶主催=福島県・国際協力事業団▶内容=基調講演・分科会・交流会等。▶申込締切り=平成12年11月24日(金)▶申込み・お問い合わせ=〒960-8670福島市杉妻町2-16福島県国際課交流推進係担当:固山TEL:024-521-7183/FAX:024-521-7919

ツーリストのギフトカード **B'way**
全国共通ギフト券
デパート・スーパー・専門店 レストラン 旅行
春の贈り物に。
全国300,000店で使って、
旅行もできるスーパーギフト。

「B'way」は贈られた方の好みで、自由に使っていただけるギフトカードです。全国のデパート、スーパー、専門店、レストラン、ホテルなど全国300,000店で商品券として使えるほか、近畿日本ツーリストで旅行券としてお使いになります。券種は、500円券、1,000円券、5,000円券、の3種類がございます。

宇都宮店
〒320-0801 宇都宮市池上町2-2
TEL 028-633-2151

人が好き。地球が好き。旅が好き。
近畿日本ツーリスト

今日から二人は、同じ夢。
幸せの未来を
スローバラードで奏でたい。

PK フラサ イン・くろかけ
婚礼・宴会・会議・宿泊・レストラン・ラウンジ
〒320-0043 宇都宮市桜4丁目1番1号
TEL 028-622-1981 FAX 028-627-9195

TIA Information Corner

知ってて得する なんでもQ&A

[私費外国人留学生 統一試験って何ですか。]

Q. 日本の大学に入りたいが、どのような準備をすればよいでしょうか。

A. ほとんどの日本の大学では、受験する外国人に対して、「日本語能力試験」の一級受験を義務づけています。試験は毎年12月の第一日曜日に実施され、成績は受験者の申告した受験予定の大学に通知されます。また、最近では、学力測定のために、「私費外国人留学生統一試験」の受験を義務づける大学が増えています。この試験は、文科系と理科系に分かれており、自分の希望する学部によって受験する科目が変わります。今年は12月10日（日）に実施予定です。試験の結果は、受験者が申告した受験予定の大学に通知されますが、大学によってこの試験の利用方法が異なるので、試験の申込の際に受験予定の大学に必ず確認することが大切です。

これらの試験の受験案内（願書）は主要書店で販売されていますが、詳細については、実施機関の（財）日本国際教育協会（TEL：03-5454-5215）に問い合わせて下さい。

○今回マロニエ緑花祭2000で公演した浙江省青少年民族音楽団の彼女たちは、日本の歌手の話になると目が輝く。特に人気があるのは金城武と深田恭子だった。これもテレビドラマの影響だろうか。

○「とちぎインターナショナルフェスティバル2000」のために、栃木県米消費拡大推進連絡協議会様からたくさんの栃木産米を提供していただき、また、財団法人あしがら国際交流財団様から、助成金をいただきました。ありがとうございました。

TIA日誌

2000年9月1日～2000年10月31日

- 9/2 インターナショナルフェスティバル2000第一回運営委員会（センター）
- 9/5 海外技術研修員・留米生ミーティング
- 9/6 海外技術研修員県内視察（日光方面）
小学校国際理解教育講座（上三川町東）
- 9/17 浙江省から高校生来県（～9/25）
- 9/19 中学生作文コンテスト審査会
- 10/3 国際理解教育講座（星が丘中学校）
- 10/16 ヴォーカリューズ県ISEMA 受入れ
- 10/19 宇都宮市城東小学校児童センター訪問
- 10/21 宇都宮市見宝小学校児童センター訪問
- 10/23 TIA ニュースやあ!onTV 放映
- 10/24 宇都宮市城東小学校児童センター訪問
浙江省老齢委員会理事長表敬
- 10/25 インターナショナルフェスティバル2000第二回運営委員会（センター）
- 10/26 浙江省青少年民族音楽団受入（～11/2）
- 10/28 同公演（みぶ会場）
- 10/29 同公演（うつのみや会場）
- 10/30 フランス・ヴォーカリューズ県高校生受入（～11/11）
- 10/31 ヴォーカリューズ県高校生理事長表敬

NEWS

国連・全国中学生作文コンテストで 栃木県から大会の入賞者決定

過日、第40回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト栃木県大会が行われ、宇都宮市立鬼怒中学校1年の田代温美さんが、最優秀賞を受賞しました。

田代さんの作文のテーマは、「国際理解と国際協力について」で、田代さんがガールスカウトに所属していて、タイ國の人たちとの交流や、文具をバキスタンなどに贈る「ピースパック」と呼ばれる活動に参加した感想などを述べたものです。今後も外国のガールスカウトと交流を深めたいそうです。

なお、栃木県大会のその他の受賞者は、以下のとおりです。

優秀賞に氏家の小竹真未さん、栃木市立寺尾中の寺内愛さん。努力賞に小山中の鶴見志穂さん、葛生中の広瀬操さん、西方中の早乙女真弓さん。

TIA賛助会員募集中！

賛助会員になっていただきますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

*賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使わせていただいており、地域の国際化のために役立っています。

<新規賛助会員の方々>

個人：外間オスカル様、石川多喜夫様、吉成亨様、三上聰様、野崎洋様、高野昌之様、藤川伸一様、江本章様
～ご入会、ありがとうございます～





TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

2001
JANUARY
No.71

1



▲南米ペルーのアンデス山脈にあるインカ帝国の遺跡といわれるマチュピチュ。1911年にアメリカ人ハイラムビンガムがこの遺跡の存在を再発見した。「空中都市」という異名があるくらい、下からはこの存在が判らない。平らな北部と傾斜の南部に分かれており、北部には長方形の広大な広場と中央神殿、3つの窓の神殿があり、南部には段々畑の続く農耕エリアと太陽の神殿と呼ばれる大きな塔がある。

特集

とちぎインターナショナル フェスティバル2000

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

- ◆ J E T コーナー ジェイミー・ブライスさん（アメリカ出身）
- ◆ レポート とちぎ国際セミナー
‘アラブから日本を考える’ 開催
- ◆ こんな店あんな店 居酒屋「ドリトル」

新年のごあいさつ

財団法人栃木県国際交流協会
理事長 小菅 充



21世紀という新しい世紀を迎えて、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様には日頃から当協会の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

グローバリゼーションの進展等に伴い、地域の国際化が一層進みつつある中で、国際交流や国際協力に关心を寄せる若い世代の人たちも少なくないことを、力強く感じているところであります。

学校教育にも国際理解のための授業が取り入れられるようになり、「世界の中の日本」、「日本の中の世界」を若い人たちから考えるようになってきております。こうした若い人たちの意識の面での国際化は、将来、更に世界に開かれた日本、世界に貢献する日本を築き上げていく大きな力になるものと確信

しております。私どもいたしましても、こうした国際化に対応した様々な事業に積極的に取組んで参りたいと考えております。

近年、インターネットやi-Mode革命等に伴い、世界が大変身近なものとなっております。当協会におきましても、インターネットを活用したホームページなどの情報分野面の充実に一層力を入れて参ります。

また、異国で生活する外国人が直面する様々な問題の解決にお役に立てるよう、引き続き相談事業を実施いたします。

外国人との共住、共存、そして隣人としてお互いに助け合っていくことが当たり前という時代の要請の中で、各国際交流団体をはじめ県民の皆様のお力添えをいただきながら、地域の国際化の推進に努めて参りたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

We have just welcomed in a new 21 Century!
Let me wish you all a Happy New Year!

I would like to begin by extending my most sincere thanks to everyone for all of their help and support in our Association's daily affairs and matters.

It seems that the internationalization occurring locally has progressed quite impressively. The younger generation's active interest in international relations has shown an expansion in international cooperation and services activities.

Within school education, international understanding has also been implemented into the classrooms. In doing so, students are able to begin thinking about the ideas of "Japan Within the World" and "The World Within Japan" starting at an early age. With internationally minded youths like these, it is convincing to believe that Japan will have the power to become even more open and contributive to the world in the future. It is for these reasons that I wish to go ahead and actively adopt useful programs.

Recently the world has become even smaller due to the internet, mobile communication and the IT Revolution. We here at the Tochigi International Association are also putting even more strength into enriching our homepage and other areas of the information fields.

Furthermore, with the help of other related people and organizations, We are continuing to offer counseling and advising in order to provide helpful solutions to the various problems foreigners living in Japan might face in their daily lives.

Living in the times where it is considered natural to live among and coexist with foreigners, as well as being asked to help each other out as neighbors, it is our intention to combine strengths with various international groups and work towards furthering internationalization on the local level.

I would like to close by wishing you all the best for this year.



クリスマスは、みんなが喜び、祈り、希望のムードに包まれる一日です。

キリストを表わすクリスマス・ツリーは「命の木」といわれ、クリスマスにはかかせないものです。

クリスマス・イブには家族でディナー・パーティーをします。クリスマスの音楽を聞いたり歌を歌ったりしながら、七面鳥やPanetone〔パネットネ〕、(ドライフルーツが入った甘いお菓子)を食べます。夜中になるとサンタさんが子供たちにプレゼントをもって登場します。大人たちはシャンパンで「Feliz Natal！」〔フェリス ナタウ〕、(クリスマスおめでとう！)と乾杯します。

大晦日の夜は、Reveillon [ヘヴェイオン] という夕食付きのダンス・パーティー

に行ったり、家族でパーティーをしたりします。そのとき、心を清めて新しい年を迎えるという意味で白い服を着ます。

新年が明けると、盛大な花火がいっせいに上げられ、回りの人達と「Feliz Ano Novo！」〔フェリス アノ ノヴォ〕、(明けましておめでとう！)と言いかながら抱き合います。

サンパウロ市では、新しい年に向かって走り出すという意味で、新年の0時になるとマラソン大会が行われます。

また、海岸では、願い事がかなうようにと小さな模型の船を作り、その船に願い事を書いたものを乗せ、沖に流す風習もあります。(国際交流嘱託員・石川アンナ談)



▲ブラジル県費留学生のクリスマス・パーティー

知ってて得する なんでもQ&A

法律扶助とは？

トラブルを解決するのにどうしても弁護士が必要な場合に、「弁護士を知らない」、「裁判費用がない」などの理由で、裁判を受けることが出来ない人のために法律扶助協会が行っている制度です。

法律扶助を受けるには、次の二つの条件を満たすことが必要です。

1.自分で費用が負担できないこと

2.勝訴の見込みがあること

扶助が決定になると、弁護士が紹介され、必要な費用を立替えてもらいます。その費用を、利用者は、経済的能力に応じて、毎月割賦で返還していくことになります。

外国人でも適正な在留資格を持っていれば、申込むことが出来ます。詳しくは、財團法人法律扶助協会栃木県支部 (Tel・028-622-2008) へ。

JETコーナー

外国語指導助手
ジェイミー・ブライスさん
(アメリカ出身)

日本国内車の旅

私と私の友達は、いつも車での旅を楽しんでいる。電車の料金、周りに気を使いながら話をしなければならないことや、プラットホームでの喫煙所を探すことなどを考えると、車での旅の方が私達にとっては気軽である。

去年の3月、福島からの帰り道、オートマの窓が閉まらなくなった。そこから入って来る冷たい風に、友達が我慢の限界を感じ始めていたので、穀風景なところにあつた一番近くのガソリンスタンドに立ち寄った。従業員に窓を覆えるようなビニールがほしいことを伝えたが、数分後、休日であったにも関わらず、メカニックが彼の家から走ってやって来た。そのメカニックに、モーターは最近取り替えたばかりで何の問



題もなく、ボタンの部分のみが故障していることをはっきり伝えたにも関わらず、彼は窓全体を取り、モーターを取り換え、窓を閉めてくれた。そんな作業が行われている一方、4人の外国人女性の周りには6人の人々が集まり、知っている英単語を話したそうにしており、ましては何かを見に来ている観客のようでもあった。

何故か最終的には、壊れてもいいモーターを取り替え、ドアを元通りにし、メカニックは言った。「このようなことはめったにないことだから料金はいらないよ」と！

これがアメリカであったなら、このようなサービスを行ってくれた時に料金は無料にはならないだろうし、きっと、私が欲しかったビニール袋をくれただけに違いない。

Road Trip in Japan

My friends and I enjoy road trips. To us, a car always beats train fairs, speaking quietly to avoid deadly stares, or searching for the smoking section between train transfers.

Last March, on our way home from Fukushima, my automatic window wouldn't go up. My friends didn't appreciate the cold breeze, so I pulled into the nearest gas station (in the middle of nowhere) and asked the attendant for a piece of plastic to cover the window. Minutes later, on his day off, the

mechanic literally came running over from his house. I explained that the button for the window was broken, not the motor since I just had it replaced a month before. Insisting it was the motor, he suddenly began taking apart my entire door, removing the motor, and unlodging the window. Meanwhile, about six people gathered around us four foreign girls, attempting to speak every word of English they knew, and watched us as if we were the best form of entertainment around.

In the end, he placed the motor, which wasn't even broken, in the trunk, taped up the window, put the door back together, then told us that because this was such a rare and fortunate occasion for him, there would be no charge.

If I had been in America, I wonder if someone would have gone to so much trouble free of charge, or whether I would have just been given the plastic I'd asked for.



TIAライブラリー案内

(貸出のお問い合わせはTIAまで)

●さあすわってお聞きなさい



南アフリカの最年長女性作家が、若い人たちに贈る、勇気と知恵に満ちた楽しい物語。クズワヨおばあちゃんの楽しい語りに耳をかたむけるだけでつらいことなど吹きとんでもしまう。ダチョウを怖がって逃げてしまった男の人生を語った「ダチョウにお聞き」、結婚式に花婿の妻が押しかけてきて大騒ぎになる「ふた股をかけた男」な

どを収める。クズワヨのいう「分かち合う」ことの最も基本といえる語りの場があるということが、実はその社会の健全さを表しているということであろう。もちろん必ずしも顔がほころんでしまうほど楽しい物語とはいえないが、一つの社会が育くんできた健全さに触れていただければ、また別の感動を得られるのではないかと思う。

(エレンクズワヨ著／スリーエーネットワーク発行／1800円)

●ODA開発教育キット(ビデオ十副読本)

世界のみんなの笑顔のために

—国際協力と日本—

小学校6年の社会・総合的な学習の「国際理解」に対応した教材で、教師用副読本とビデオ教材の教育キット。

ODAを始めとする国際協力を推進する

ことが日本にとって極めて重要である一方で、「国際協力」「開発援助」をどのように子供たちに教えていくかといった情報、ノウハウ等はまだ

教育現場に十分普及しているとは言い難い状況にあります。そこで開発問題や国際協力の重要性を理解し、そのあり方について考える能力を子供たちに身につけさせるための教育の手助けとして作られた教材。

映像と副読本を用いて、国際社会におけるわが国の役割をイメージ豊かにし、かつ具体的な理解を促すことができる。
(外務省経済協力局企画／株NHKプロモーション制作)



とちぎ インターナショナル フェスティバル2000

2000年11月25日(土) 26日(日) 開催

去る11月25日(土) 26日(日)の両日、とちぎ国際交流センターで、関係団体の協力をいただき「とちぎインターナショナルフェスティバル2000」を開催した。

25日は、外国人と日本人のディスカッション、ボランティアスクール、国連NGO会議・中東女性会議報告、着物教室、華道や茶道の紹介、日本の食文化紹介を行った。

26日は、館内や屋外テント等での、各国の料理や手工芸品・民芸品等の販売のほか、多目的ホールや玄関前での琴の演奏や日本の踊り、韓国の農楽の披露などがあり、また、外国人を対象とした職業・研修についての相談や無料健康診断等も行われた。たくさんの来場者で賑わった。



JICA紹介コーナー・・現地の国際協力の現場の様子をパネル等で分かりやすく紹介

25
日



日本の食文化紹介・・日本の伝統料理の雑煮と
筑前煮に挑戦



外国人と日本人のディスカッション・・
終始なごやかなムード



華道教室・・日本の生け花を体験



着物教室・・着物の歴史、着物の着方について勉強



ボランティアスクール・・貧困について考える



国連NGO会議・中東女性会議
活動報告会・・中東での活動の熱の入った報告。

26
日



屋外での催し・・韓国の農楽が披露された



もちつきをするアフリカから来た外国人



2階の催し（ホール）・・各国の琴の演奏

とちぎインターナショナルフェスティバル2000

TOCHIGI INTERNATIONAL FESTIVAL 2000

2000年11月25日・26日



2階の催し・民族衣装の紹介。各国の衣装を試着することもできた



3階の催し（屋外）・・屋外にテントを張って、アジアンエスニック（タイ・ネパール）の料理を味わった



3階の催し（和室）・茶道の無料体験。実際に着物を着て、作法も習得

レポート

とちぎ国際交流セミナー アラブから日本を考える

12月14日（木）・とちぎ国際交流センターで「とちぎ国際セミナー」を開催した。

栃木県出身の在オマーン日本国特命全権大使神長善次氏を講師としてお迎えし、「アラブから日本を考える」をテーマに、お話を聴きしたもの。

神長氏は外務省入省後、米国、フィリピン、インド、インドネシア等在外公館で活躍され、現在は在オマーンの日本国大使として活躍されている。

今回の講演で大使は、アラブの本質は、コーラン（クルアン）であること、クルアン（経典）の本来の意味は「読まれる」ものであること、アラブがこの「クルアン」に忠実な社会であることなどを分かりやすく話された。

講演会のあとは、大使を囲んでのティーパーティーを開催し、終始和やかなムードで、予定の時間が過ぎても大使を囲む輪が

なかなか崩れないほどであった。

神長大使の講演を聞いてどんな感想をお持ちですかという問い合わせに対して、会場で講演を聞いたTさんは、「アラブというと男性の国というイメージでしたが、大使の話を聞いて、今までのイメージが変わりました。」と答えてくれた。またKさんは、「アラブの国会議員が日本を訪れた際に、テレビで忠臣蔵をみて、日本の科学技術の裏にはこういう文化もあるんですねと話していた、ということを大使から聞いて、日本の文化に今まで以上に誇りを持ちました。」と語ってくれた。



▲講演をする神長大使

[オマーン国とは？]

アラビア半島の東端に位置し、北部はオマーン湾、東部から南部はアラビア海に面し、面積は日本の本州をやや下回り、国土の大部分は砂漠。



紀元前2世紀頃から、アラビア半島北部やイエメンから移動してきたアラブ人が定住・六世紀末に移動してきたアズド族が国家を樹立して、イスラム教を国教とした。しかし、歴代のカリフ（イスラム世界の最高指導者）への従属をこぼみ、賢者による選挙で、みずからイマーム（宗教的指導者）を選んできた。

民族はアラブ人が大部分で、ほかにイラン人、インド人、アフリカ人などがいる。

オマーン国の人口は、約229万人。首都は古くから港湾都市として発展したマスカット。

日本は、1971年6月1日に承認し、在オマーン日本大使館をマスカットに設立。

日本は輸出最大相手国で主に原油が占める。日本からの輸入は、自動車、機械など。日本の経済協力は農業開発、港湾整備などの技術協力が主。

かに香る。ぜひ一度飲まれてはいかがでしょうか。

このお店にくるお客様は、だいたい30歳前後の方が多いそうだが、ボトルキープされるお酒の種類は非常に多く、お店にないお酒をキープしたいというお客様もいて店長の橋本さんが自らお客様のためにさがして来ている。店内もエスニックな飾りつけがされており、一味違った居酒屋の雰囲気が楽しめるお店だ。

- ▶ 営業時間=PM5:00-12:00（木曜定休）
- ▶ 住所=宇都宮市塙田1-3-19（塙田駐車場並び）▶ 電話=028-625-5690



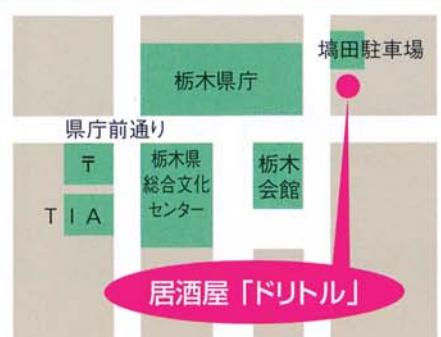
▲店内の様子

お店のカウンターには、バーボン、紹興酒、泡盛など世界各国のお酒が並べられている。

また、そのお酒に合わせた、おつまみも数多くメニューにリストアップされ、普通の居酒屋ではなかなか口にすることの出来ないようなものもある。

例えば、軟骨の串揚げ西域スパイスは、橋本さんが中国の西安を訪れたときに食べたシシカバブの味付けが気に入って同じスパイスで味付けしたもの。「モモ」といわれるクミンというスパイスが入ったネパール餃子やイスタンブルの屋台で売られているベーカドポテトの中身をくり抜いてバターとチーズ、コーン、ピクルス、トマトをトッピングしてマヨネーズ系のドレッシングをかけたちょっとエスニックなベーカドポテト。また、橋本さんが以前味噌工場で働いていたときの経験から生まれた豆腐のゆずみそ漬などがお勧めの一品となっている。

お酒のなかでのお勧めは、ポーランド産のお酒で「ズブロッカ」といわれるウォッカ。これはお酒のなかに草が一本はいっていて、これがお酒に香りをつけていて、仄



情報発信 地域の国際交流案内

★水を求めるアジアの人々のために！！

インド井戸掘りワークキャンプ

▶実施日時=2001年2月28日（水）～3月14日（水）▶実施場所=インドカルナータカ州ビジャプール地区▶内容=井戸掘り、村人との交流、アジェンタ、エローラ見学▶定員=成年男女14名▶締切=1月26日▶参加費=260,000円▶問い合わせ先=▶アジア協会アジア友の会（J A F S）〒550-0002大阪市西区江戸堀1-2-16大ビル4F TEL:06-6444-0587/FAX:06-6444-0581（地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車1-B出口よりすぐ）地下鉄御堂筋線淀屋橋駅4号出口徒歩6分）e-mail:jafs@i.bekkoame.ne.jpホームページhttp://www.bekkoame.ne.jp/i/jafs/

★アジア学院アジア農村指導者養成専門学校農村開発科2001年度学生募集！

アジア学院ではアジア・アフリカの農村地域からの農村リーダーと共に1年間暮らし持続可能な農業と農村開発について学ぶ日本人学生を募集しています。

▶主な研修教科=指導者論、開発論（世界経済と世界化、食糧問題と栄養、環境と開発、人権問題、平和問題等）、持続可能な農業、調査法と報告書指導、農村調査研究農村開発と共同体組織、小規模開発プロジェクト、実習及びプロジェクト（蔬菜作物、畜産、養魚、食品加工）研修旅行（農村調査研修、西日本研修旅行）▶海外研修=将来発展途上国での活動につながる、より実践的な経験を習得するために、フィ

リピンネグロス島にて、約2か月間（2002年1月～2月）農場実習セミナー企画、実行、農村調査、N G O 及び政府開発関係機関の見学訪問、地元農民との交流等を行う。▶研修期間=2001年4月1日より1年。海外研修の期間を含む。▶募集締切り=2001年3月15日▶お問い合わせ=アジア学院〒329-2703 栃木県那須郡西北須野町楢沢442-1 TEL:0287-36-3111 FAX:0287-37-5833 e-mail: ari@nasu-net.or.jpホームページhttp://www.nasu-net.or.jp/~ari

★国際人材育成・ボランティア体験・英語研修

▶研修目的=ボランティア体験（チャリティショップ、老人ホーム、託児所などの手伝い）、野外環境（文化財保護）ワーク・英語研修（レベル別・外国人学生と一緒に学ぶ）と国際期間・N G O ・ N P O ・ 日系製造企業訪問など自己研修▶研修期間=2001年2/3～3/2、2/3～3/23、2/24～3/23、4/14～5/11、8/18～9/14、9/8～10/5、9/8～9/22▶対象=18歳以上で英語による基本的なコミュニケーションができる方（国連英検C級程度以上の方、大検資格をお持ちの方）▶お問い合わせ=コミュニケーションインターナショナルIV C T 係TEL&FAX 03-3205-0881 e-mail:ci@gol.comホームページhttp://come.to/ci

★懸賞論文コンクール

▶論文課題=「21世紀における日EU関係」▶応募資格=△学生の部・平成13年1月1日現在、大学生までの学生（学部・専攻は問わない。短大生、高校生等も含む）△社会人の部・社会人、研究者、大学院生等、上記に該当しない者▶論文形式=A4版の用紙最大10枚程度、使用言語は日本語ワープロにて作成。（書式：横書き、40

字×40行）必ずしも厳密な学術論文形式とする必要なし。▶締切り=平成13年3月31日（土）▶送付先=〒106-0041 東京都港区麻布台3-1-2I飯倉セントラルビル4階社団法人日本外交協会「日EUに関する懸賞論文」係 A. 日本外交協会のアドレスeuronbun@spjd.or.jpに添付して送付 B. データを保存したフロッピーディスクを論文に同封▶注意事項=応募者について以下の事項を記載した用紙を論文の表紙に添付のこと(1)氏名（フリガナ）、性別、年齢(2)学校名、勤務先、学部名/所属、学年/勤務年数(3)連絡先住所、電話番号（休暇、帰省中の連絡先も）(4)e-mailのアドレス(5)応募のきっかけ（ポスター、ホームページ、新聞雑誌等）▶審査=△審査方法・有識者による「審査委員会」を設置し、論文審査の上、優秀者を決定、表彰を行います。（審査委員長：田中俊郎慶應大学教授）△審査結果発表・4月に入賞者本人に通知し、外務省及び▶日本外交協会ホームページに掲載します。▶お問い合わせ=▶日本外交協会 TEL:03-3584-6200 FAX:03-3584-7542 外務省国際経第一課 TEL:03-3580-3311（内線2516）ホームページ▶日本外交協会http://www.spjd.or.jp/ 外務省国際経済第一課 http://www.mofa.go.jp/mofaj/

★ピースボート第33回地球一周船の旅

地球各地の寄港地のN G O や学生たちと交流しながら、草の根交流をするクルーズ。▶予定寄港地=アジア・欧米・アフリカ▶予定寄港期間=2001年5月22日～8月26日▶問い合わせ先=ピースボート事務局〒169-0075東京都新宿区高田馬場3-14-3-2F TEL:03-3363-7561/FAX:03-3363-7562 ホームページhttp://www.peaceboat.org/

宇都宮←羽田空港

（直通高速バス 1日5往復）

宇都宮から羽田空港へ直通バス運行開始

●柳田に専用駐車場（150台）完備 1日200円

●運賃 大人片道

3,500円

小人半額・税込

●所要時間

150

～190分

羽田空港行

柳田(柳田大通り)発	3:05	4:05	5:15	8:35	16:05
JR宇都宮駅発	3:20	4:20	5:30	9:00	16:30
東京駅西口発	3:23	4:23	5:33	9:05	16:35
羽田空港着	5:40	6:40	8:00	11:40	19:10

宇都宮行

羽田空港発	10:00	14:35	19:10	21:10	22:40
-------	-------	-------	-------	-------	-------

●お問い合わせ・ご予約は羽田空港行予約センター

☎(028)639-6700

関東バス

栃木県交響楽団

創立30周年
第70回定期演奏会

曲目 スメタナ／交響詩“モルダウ”
チャイコフスキイ／ピアノ協奏曲第1番
ベートーヴェン／交響曲第7番



ピアノ
横山 幸雄



指揮
井崎 正浩

2/4

(日) 2:00PM ▶宇都宮市文化会館大ホール全自由席
¥1,500 宇都宮市内ブレイガイド・チケットぴあ
お問い合わせ 栃木事務局 ☎028-643-5288

TIA Information Corner

★アットホームなビデオ作家たち参加者募集

TIAニュースやあ！on TVでは、みんなの撮ったビデオ作品を募集しています。採用された方は、とちぎテレビで一緒に作品を編集して、番組にも出演していただきます！
▶応募資格=栃木県にお住まいの方（性別、年齢、国籍は問いません）▶作品条件=国際交流などに関わる内容のビデオテープ（DV、8ミリなどのビデオカセットでも可）
「外国人とバーベキュー・パーティー！」
「海外旅行中にこんなことが・・・！」
「こんなシーンって、なんかいいよね～」
など。▶応募先=作品タイトル、住所、氏名、電話番号を添えて、2001年1月31日までにTIAに応募してください。（応募作品は返却します）▶放送日=2001年3月。

★安全ガイド5か国語版

栃木県警察本部では、「ようこそ安全の国・日本へ」「安全に快適に道路を利用していただくために」という小冊子を発行しております。言語別に色分けされ、タイ語・中国語・英語・スペイン語・ポルトガル語の5か国語版があり、日本の交通ルールや事故が起きたときの対処方法などが分かりやすく書かれています。この冊子は、TIAのインフォメーションコーナーにおいてあります。

★オーストラリア日本語講師派遣事業

▶実施国=オーストラリア（ニューサウスウェールズ州が中心）▶参加期間=現地受入れ学校の1学期-4学期（3か月～9か月が一般的）受入れ時期としては2月、4月、7月、9月開始が一般的▶活動内容=派遣先の学校での日本語指導、日本文化紹介及び現地学校スタッフの補佐を行う。日

本語に加え、他の授業や課外活動への参加をお願いする学校もある。柔軟に対応していただける方の参加を希望。▶参加条件= ◇年齢：20歳～29歳（30歳以上の方は要問い合わせ）◇プログラム参加に必要な英語能力を有する方（英検2級程度以上）◇学校の指導方針に従い、柔軟に対応し、協調性をもって活動できる方。▶資料請求・問い合わせ先=文化教育交流会〒532-0003大阪市淀川区宮原1-16-2ジャルダン東淀川604 TEL.06-6397-7030/FAX.06-6397-3757 ホームページhttp://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakushin/cec/e-mail:cec@osk.3web.ne.jp

TIA日誌

2000年11月1日～2000年12月31日

- 11/1 浙江省青少年民族音楽団送別会（ニューミクら）
- 11/2 県費留学生ミーティング（センター）
- 11/7 海外技術研修員定例ミーティング（センター）
外国人のための法律相談会（センター）
- 11/8 中国大運河巡り講座（センター）
- 11/9 フランススポーツクリューズ高校生送別会（チサンホテル宇都宮）
- 11/12 国連協会英語検定試験（センター）
外国人のための法律相談会（栃木市）
- 11/13 海外技術研修員・県費留学生県外視察（関西方面/～17日）
- 11/15 中国大運河巡り講座（センター）
- 11/22 中国大運河巡り講座（センター）
- 11/25 とちぎインターナショナルフェステ

イバル2000（センター/～26日）

- 11/28 中国大運河巡り講座（センター）
- 12/1 県費留学生ミーティング（センター）
- 12/5 フランス派遣高校生選考委員会（センター）
- 海外技術研修員ミーティング（センター）
- 12/7 北関東三県国際交流協会連絡会議（センター）
- 12/8 海外技術研修員受入機関等との打合せ（センター）
- 12/14 とちぎ国際セミナー（センター）
- 12/16 栃木県海外移住家族会役員会（センター）

TIA賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

<新規賛助会員の方々>

個人：カザリナ・ジューリア様、
田徳意様、岩上陽子様

～ご入会、ありがとうございます～

○今回のとちぎ国際セミナーは、本県出身の在オマーン日本国大使の神長氏に講演をしていただいたが、たくさんの参加者があり大盛況であった。その後で行われたティーパーティーでも、大使を囲み中東の話で盛り上がった。中東でパーティーに招かれた時には、話をするなら食事の前で、食事が終わったらすぐに帰るというのがイスラムの教えだそうだ・・・

○今年のインターナショナルフェスティバルは、幸いにも前日の天気予報に反して、両日ともよい天候に恵まれた。今年は、お楽しみ抽選会があったが、来場者は幸運にめぐまれたかな？

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。





TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

2001
MARCH
No.72

3



▲トルコ第三の都市イズミーから東南へ250kmの地点にある「パムッカレ」。トルコ語で「綿の城」を意味するこの場所は壮大な石灰棚が小高い大地に広がり、温泉保養地となっている。石灰を含んだお湯が流れしており、これが流れ落ちるうちに、崖全体が結晶したのがパムッカレである。夕日が影を落とすころ、この白い台地がピンク色に変わり、やがて茜色に染まる様は幻想的な雰囲気を漂わせる。

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO.20

ボツワナ共和国

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

- ◆ J E T コーナー クリストファー・トムソンさん(オーストラリア出身)
- ◆ カメラルボ キッズ・インターナショナル・クラブ
- ◆ トピックス ▶ 南米から短期研修生が来県
- ◆ 企画展示室より ▶ フランス・ヴォークリューズ県に高校生が出発
- ◆ 國際交流団体紹介 オーストラリア人の見た北関東の13か月ほか
- ◆ レポート モンゴル交流協会ナイラムダル
- ▶ 栃木県の浙江省友好交流員帰国
- ▶ 平成12年度海外技術研修員帰国

JETコーナー

クリストファー・トムソンさん
(オーストラリア出身)



ビクトリア高校教育制度と日本の高校の教育制度には、大きな相違点があります。念のため、ビクトリアとはオーストラリア本土の南東部にある州です。

ビクトリア高校の教育制度についてのみ話が出来るのは、それぞれの州によって教育制度が違うからです。

日本の教育制度との大きな違いは、卒業の認定制度だと思います。ビクトリアでは、11年生と12年生の2年間で12科目をパスした者が、修了証書を授与されます。最終年の12年生の成績が大学等入学を左右する最終評価となります。(例えば、最終評価126点の生徒が、最低144点必要な行動科学の大学に進学することは不可能です。日本の大学入試とは違い、上記のように最終評価が大学入学の資格になり、まれに面接もあります。)

もう一つの違いは、クラブ活動(部活)です。例えば、オーストラリアでは、部員は週1回の練習と試合を行います。だから、日本の高校生が、学校で勉強し、その後、部活を週7回も行っているなんて信じられませんでした。まさにクラブ活動に関しては二国間に大きな違いがあります。

もちろん類似点もあります。両方の教育制度とも、学生が一生懸命勉強し、ベストをつくすよう促しています。外国语教育にも力を入れています。いちばん似ている点は、教育制度ではなく、その制度内にいる人々、特に学生たちです。学校内での友達関係をとても大切にし、お互いの文化(歴史や文化交流)に強い興味を持っていることです。また、同じような経験・過去があることを快く受け入れます。

例えば、音楽(オーストラリアはカラオケは含まれませんが・・)、映画や特にスポーツなどです。オーストラリアと日本の学生たちは(世界中の学生と同じように)世界における自分たちの位置を探しつづけており、それは彼らが直面する最大の課題なのかもしれません。

「経験する」ために来日し、過去3年間日本で生活できたのは本当に素晴らしいことでした。

There are major differences and similarities between the Victoria High School Education system and the Japanese High School Education system. To clarify, Victoria is an Australian State located in the south east of the Australian mainland. I can only comment on the Victorian H.S. Education system, as each state has its own separate high school education system.

The major difference between the Victorian and the Japanese education system is, I believe, the process by which a student graduates high school. In Victoria the process is broken up into two years, the 11th and the 12th years. The Victorian Certificate of Education (VCE) requires the student to pass 12 subjects over this two-year period. The final year, the 12th year, the student's marks are tallied to produce a mark, which will be their final score. This score will determine what

university or higher learning course they will be able to undertake. (I.e. a student may want to study Behavioral Science at a particular university. However, the student received a total VCE mark of 126 and the cut off score for Behavioral Sciences at that university is 144. Therefore the student won't be able to take that course at that university. In Australia, unlike Japan, university undergraduate entrance is based upon final VCE score only and rarely an interview.)

Another difference between our two education systems is extracurricular activities (club activities). For example, an Australian school sporting team will train once a week and play a match once a week. I have never understood how a Japanese high school student is expected to study when they train, in some cases training 7 days a week. Japanese school activities are more varied than that of most Australian high schools.

There are many similarities as well. Both education systems expect the best from their students and the system encourages students to do their best. Both place emphasis on learning a foreign language. The biggest similarities however are not so much with the education system, but rather with the people within the system, especially the students. Both of our countries' students enjoy the relationships they make at school, both are interested in each other's cultures (history lessons, cultural exchanges). Both enjoy the same past times, such as music (in Australia - not Karaoke), movies and especially sport. Both Australian and Japanese students, and in fact students everywhere, are searching for a position for themselves in the world, which I believe, is the greatest challenge a student themselves face.

It has been a wonderful honor for me to spend the last three years in Japan. It has allowed me the opportunity to do just what I came here to do - experience.



をセットにしている。
(特定非営利活動法人地球の友と歩む会/LIFE編)

●世界の国別地図

アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、アメリカ州、大洋州等の112の国と地域の



地図。地図は、国全体の地図のほか主要都市の市街地図もある。国道や高速道路、鉄道なども記載されているため、海外に行く人に役立つ情報も多い。また付録の地名リストで地名などが探しやすくなっていて便利だ。教材としても、海外旅行用としてもお勧めの地図である。

(GEO CENTERほか編集)

■TIAライブラリー案内■ (貸出のお問い合わせはTIAまで)

●参加型学習ですすめる12の国際理解教育教材

インドのスポーツを通して国際理解を深める教材、人の移動の歴史を通じて深めるもの、民族と異文化理解のシミュレーションゲーム、地球市民が共通に使える紙幣作り、ロールプレイングで、いろいろな国に交流員を派遣する教材など多彩。そのほか、子供たちが親しみやすい漫画で環境問題や南北問題等を考えさせる教材等、12の教材

カメラルボ キッズ・インター ナショナルクラブ

平成13年1月25日開催

～外国の歌と遊び～

今回で3回目となる「キッズ・インター ナショナル・クラブ」。今年は1月25日に開催した。参加した約40人の子供たちは、いろいろな国から来ている外国人に、その国の言葉であいさつをしたり配られたビニール製の地球儀に、その国的位置を書き込んだり、また中国やザンビア、アメリカ、韓国、フランスの子供たちの遊びを楽しんだりした。



地球儀型ボールを持って、いざ挨拶！



外国人の人に国名を書いてもらって～



中国の歌（ジャオポンヨウ）を歌いながら友達をみつけていく遊び



ザンビアの遊び「タッチ」スタートからゴールまで鬼にタッチされないように走りぬくゲーム



アメリカの遊び「ダック・ダック・グース」。鬼が頭を触りながら「グース」といわれた者が鬼となり元の鬼を追いかける。円陣のまわりを逃げまわる鬼は、円陣に加わればセーフ。



フランスの遊び「悪魔のしっぽ」。赤と青に分かれでお互いのしっぽに見立てたハンカチを取り合う。ただし、自分の取られたら負け。最終的には取ったハンカチの数で競う。



韓国のおもてなし「チエギ」を実際に作る。



みんなでチエギを蹴る。何回出来るかが勝負。



ブラジルの遊び「ペテカ」は手で遊ぶ。韓国のおもてなし「チエギ」と似ている羽根つき遊び。

TOPICS トピックス

南米から短期研修生が来県

栃木県から南米に移住した人々の子弟（高校生）を本県に招待し、両親や祖父母の生まれた国を知ってもらおうという「栃木県南米移住者子弟短期研修生受入れ事



▲協会理事長表敬



▲鹿沼東高校の体験通学に参加した南米短期研修生

業」が2月5日～2月21日までの3週間行われた。

今回の訪問団は、ペルー県人会の元県費留学生池田マリアクリスティーナさんを团长に、ブラジル・サンパウロ市から長安ジョゼーさん、グアラサイ市から坂本甫さん、パラーラ州から菅谷常智アルマンドさん、パラグアイ・フェルナンド・デ・ラ・モーラ市から高田稔さん、ペルー・リマ市から幅上たるみマリアナアストゥリさん等の5名の团员で構成。一行は鹿沼東高校での体験通学や親族宅へのホームステイのほか、益子町でのろくろ体验、日光湯元でのスキーパーク体验、宇都宮高校剣道部での部活動体验、東京と日光の视察等さまざまなプログラムに参加し、楽しい思い出を作って帰国した。

「先生のための国際理解教育実践セミナー」 に66名の小学校の先生が参加

小学校の先生を対象とした「先生のための国際理解教育実践セミナー」(TIA主催)が、平成13年2月22日(木)、とちぎ国際交流センターで実施され、県内66名の先生が参加した。

平成14年度から実施される「総合的な学習の時間」で実践できる内容として、外国のモノや国際理解のための教材等を使用した参加型学習方法、また、小学校で英語学習を行うときのポイント等を、参加者が実際に体験しながら学んだ。



▲インドネシアの影絵人形「ワヤン」を見る参加者

ボツワナ共和国

REPUBLIC OF BOTSWANA

アフリカ大陸南部の内陸国。面積は日本の約1.5倍。国土の大部分をカラハリ砂漠が占める。大陸性気候。

ダイヤモンド、ニッケル、銅、コバルト金などを産出し、輸出の大部分をダイヤモンドが占める。乾燥地域であるため、農業はふるわないが、牛、山羊、羊などの牧畜が行われている。

国名のボツワナは住民の大多数のツワナ族に由来し、「ツワナ族の国」の意味。

案内人

橋本 浩 さん(宇都宮市在住・36歳)



協力隊への応募は、仕事で行き詰まり、自分を見つけようとして。以前従事していた味噌会社の経験を生かせるということから、食品加工を希望。食品加工は募集の少ない職種。

1997年12月から1999年12月までの2年間、アフリカのボツワナ共和国の国の機関である食品技術研究所で、研究員として各種の食品の研究を行ってきた。

研究者としての毎日

▶農場での研修会



たべるということが多いです。

また、ドクターからキムチを作つてみろといわれ、キムチを作つたこともあります。研究所内はエリート集団といった感じで、ドクターが多かったです。この国の機関のトップはみんな外国人が占めています。この理由は簡単で、単にボツワナ人にはドクターがいなかつたということなのです。しかし、感触としては、研究をいろいろ重ねましたが、やってもやつても手応えがなかつたというのが私の感触でした。そのため、ある程度自分のやりたいことをやってそれを成果として残してきたという部分があります。

現地派遣の協力隊の仲間で、農業関連の研究会も作りました。また、農場の協力隊員が2人いたため、農民のための研修会を開いたこともあります。ボツワナの農民は一般に外の事を知らないため、こういう研修会を開いて、外ではこのようなことをしているということを情報として取り入れさせて、刺激剤としました。また、外国人が入っている農場での研究会も行いました。大きな農場1か所を会場として、約40名前後で大型バス1台、マイクロバス1台の計2台を借りて、農場の見学をしたわけ

ですが実際には、隊員支援経費が得られなかつたため、バスは農業省から借り、ドライバーも農業省にお願いしました。見学させてもらった農場の庭先で、温野菜のサラダや味噌汁を作つたりして、意外と好評でしたが、キムチだけは現地の人々に不評でした。理由は、生のニンニクが駄目ということと、野菜の発酵が駄目ということでした。ボツワナは砂漠が多いため農業には向いていません。しかし、牧畜は盛んで、牛肉は主にヨーロッパ方面に輸出され、山羊は国内用として飼育されています。

主食はどうもろこしが主流

ボツワナの主食はトウモロコシですが、粒が小さくて赤い皮が付いている1粒約5mm程度のものは「ソルダム」と呼ばれ、粉にして、鍋の中で水を加えながら、加熱し、マッシュポテトのように固めのペーストにして食べます。また「メイズ」と呼ばれるとうもろこしは、そのまま粉にして調理して食べます。こちらの方がポピュラーなものとされています。ほかに日本と同じように米を食べる人もいます。

◀首都の街並み



◀ボツワナの北部の湿地帯（ホカバンゴ）





以前アンケートを取った結果では、年齢層の高い人はメイズやソルダムを食べますが、若い人は米を食べます。しかし、米は100%輸入に頼っています。ボツワナの有名な料理に「セスワー」という汁気の多い煮込みがあります。お祭りや結婚式などのお祝い事があって人が大勢集まるときに食べるもので、牛肉を塩と水だけで鉄鍋で煮たものです。普段は牛肉や山羊のシチューが多いです。またフライドチキンなどもよく好んで食べられています。また、にわとりもよく食べ、ゆで卵やオムレツも食べられています。日本のように生活習慣のサイクルが決まっているわけではないので、朝、昼、晩ということではなくて、食べたいときに食べるという感じです。



一般的なランチメニュー

宗教はキリスト教

ボツワナは、11月の末から翌年の4月までは雨期で、気温は38度ぐらいになる日が続きます。7月末は乾季の最も寒い時期でマイナス5度から30度まで温度が下がり、毎朝霜があります。砂漠が多いため乾燥していますが、北部の方は、じめじめした地域となっています。

宗教はキリスト教が入っているため、アフリカの他の国に多いお祭りといつ行事は少なくて、独立記念日ぐらいしかありません。この日は軍隊がパレードを行い、軍や村の中で、踊りの大会を行ったりします。

ボツワナは平和な国で、独立戦争もありませんでした。もともとイギリスの保

データ



青地の中央に細く白い条にはさまれた黒い横帯。晴れわたる青空と貴重な水を青で、国民の大部分をしめる黒人を黒で、白い条は少数の白人を表し、両者の協力を示す。1966年制定。

護領でした。独立のきっかけは、ボツワナの長老が自ら、本国のイギリスに1966年9月30日に独立のお願いに行き、その時の長老が後の最初の大統領となりました。

市内には大きなショッピングモールが5カ所ありますが、他のアフリカの国々にあるようなマーケットは存在しません。モールのまわりに露店がある程度です。

ボツワナは就労人口の6割が公務員で、国と宝石会社で有名な「デビアス」が合弁会社を作り、そこで得た収入を公務員の給料としています。この国の主な輸出品目はダイアモンドで、75% 輸出されています。

ボツワナ共和国

① 面積	582,000km ²
② 人口	157万人(98年)
③ 首都	ハボローネ
④ 主要言語	英語、ツワナ語
⑤ 民族構成	バンツー系ツワナ族が大部分。
⑥ 宗教	大部分が伝統宗教ほかにキリスト教
⑦ 通貨	ボラ
⑧ 元首	大統領
⑨ その他	協力隊員の派遣数135人 栃木県からは2人

(2001年3月現在)

TIA企画展示室より

オーストラリア人の見た 北関東の13か月 ～ローランド・スマール展～

2月3日から17日までの2週間、とちぎ国際交流センターの企画展示室で、栃木県を中心に北関東の建物や風景を描いた絵画展が開かれました。展示された26点を描いたのは、オーストラリアのタスマニア島から来たローランド・スマール氏。オープニング・セレモニーでは会場に来られた方々にタスマニア特産のワインとチーズが振るまわ

れました。もともと大学で建築を専攻していたということで、日本の独特な建築物に興味を抱いてスケッチをし、それをアクリル画にしたそうです。帰国前に、滞在していた13か月の間に描いた絵画を是非皆さんに



ローランド・スマール氏
の絵画展

見てもらおうと、この絵画展を開いたもの。建物とか杉の大木など、描かれた絵は自分の目の高さから描いたものです。人によって見る位置や見方は違うので、自分なりの視点から見て共通点を引き出してくれたらと話していました。

現在、企画展示室では、3月31日まで、アジアの漫画や絵本を集めた「アジアの漫画・絵本展」を開催していますので、こちらの方もどうぞご覧ください。



国際交流団体紹介

モンゴル友好協会ナイラムダル

私たち、モンゴルの文化を身近に紹介したいと、1992年から毎年“ナイラムダル(友好)コンサート”を延べ188公演、そのうち「次世代を担う子供たちの国際交流を」と、小、中学校、養護学校など71公演をしてきました。栃木県内では、小学校を中心にコンサート24公演、展示会5回、モンゴル紹介授業7回、展示物貸出15校など行っています。これまでモンゴルは遠い存在でしたが、最近、大自然の中で生活する遊牧民が紹介され、私たちが忘れてきていた大自然のすばらしさを讃え、両親を慕うなどの文化があります。またモンゴルは、「心のふるさと」のような親しみを持った人が少なくありません。小学校ではモンゴルの民族楽器“馬頭琴”的民話「スホの白い馬」を学ぶこともあります。そんなことから子供たちは、モンゴルや民族楽器

“馬頭琴”的音色に关心を持っていますし、興味を引かれる国になってきています。

私たちは、「コンサート」や「モンゴル紹介授業」などを通じて、モンゴルの生活・文化の一端を紹介しています。子供たちは「モンゴルの子供は、どんな勉強をしているの」「どんな家に住んでいるの」「何を食べているの」「どんな遊びをしているの」など興味を膨らませています。ぜひ、交流するなかで、子供たちの心のなかに、私たち日本とはちがった文化や習慣をもった人達が身近になり、お互いに学びあう国際人へのきっかけになればと思います。

あわせて、モンゴルは10年前から資本主義経済に移行して、大量の失業者が発生し、明日の生活を追われ、ストリートチルドレンも生まれてきています。以前の心のゆとりは消えつつあります。私たちの日常生活を振り返りながら考えていければと思います。



▲小学校でのコンサート

ドレンも生まれてきています。以前の心のゆとりは消えつつあります。私たちの日常生活を振り返りながら考えていけばと思います。

<主な事業>

- 1.モンゴル民族音楽コンサート
- 2.モンゴル紹介授業
- 3.モンゴル紹介「写真パネル」「子どもの絵」などの貸出し
- 4.展示会/写真、子どもの絵、民族楽器、民具、民族服試着など
- 5.交流の旅/遊牧民ゲル訪問、草原での乗馬。遊牧民ゲル・ステイなど。
- 6.通信「モンゴルからの風」/季刊A5版 24ページ。

[連絡先]

〒321-2345

栃木県今市市木和田島1526-152

モンゴル協会ナイラムダル 代表大島武行

☎0288-26-0136

(電子メール)

nairamgo@d6.dion.ne.jp

(ホームページアドレス)

<http://www.d6.dion.ne.jp/~nairamgo>

レポート

栃木県の浙江省友好交流員帰国

栃木県と友好交流を行っている中国浙江省の浙江大学に昨年9月から半年間派遣され、語学や中国文化を学んでいた本年度の「友好交流員」3名が、研修を終えて無事帰国した。この派遣事業は平成6年度から始まり、本年度で7回目となる。

友好交流員のひとり、鈴木康子さんは、1月中旬の最終試験の後、中国国内を旅行して来たとのこと。行く前にガイドブックを見て、持つて行った方がいいと書かれてあった物を持って行ったところ、ほとんど現地調達でき、中国の発展の速さにびっくりしたそうだ。また、日本で学んでいた太極拳を浙江省で上達させたいと考えていた越川学さんは、中国では太極拳をやっている人は日本で想像していたほど多くはなく、独学で練習したという。たまたま、彼の所属していた団体の訓練が福建省で正月休みに行われたということで、そちらにも参加し、運良く、中国の武術師の先生からいろいろ指導を受けられたとのこと。彼らは、浙江省に行く前はあまり中国語が流暢

ではなかったが、ペラペラになって帰ってきた。ただ、浙江大学の彼らの宿舎と日本語学科の学生の宿舎が離れていたため、お互い相手国の言葉を学ぶ学生同士の交流があまりもてなかかったのは、少し残念だったという。

今後は中国で学んだ語学力を生かして、友好交流員として栃木県と浙江省の行う友好交流事業に協力していくことになる。今後の活躍に期待する。



▲3名の友好交流員（中国・浙江省で）

平成12年度

栃木県海外技術研修員が帰国

平成12年6月5日に入国来県し、10か月間、日本語やそれぞれの専門分野の研修を県内の各研修機関で行ってきた海外技術研修員10名が、日本でのたくさんの思い出を作り、それぞれの国へ帰国した。彼らが今後母国において、日本で学んだ技術などを生かし、新しい人材の育成に取り組むなどして母国の発展に貢献するとともに、本県との交流の掛け橋となることを願っている。



▲平成12年度研修員

情報発信 地域の国際交流案内

★平成13年度夏期短期派遣プログラム

オーストラリア・ニュージーランド・カナダ・タイ・アメリカ・アイルランドのそれぞれの国で、ホームステイしながら地元の高校あるいは専門施設でその国の言葉や文化を学びます。

▶応募資格・人数・期間=オーストラリア(80人)・高校生・7/20(金)~8/26(日) ニュージーランド(50人)・高校生・7/21(土)~8/20(月)、カナダ(英語研修15人・仏語研修8人)・高校生・7/21(土)~8/2(月)、タイ(10人)・高校生または大学生・7/21(土)~8/17(金)、アメリカ(15人)・大学生および大学院生・7/29(日)~8/20(月)、アイルランド(7人)・大学生および社会人(60歳まで)▶募集期間=2000年2月1日(月)~4月27日(金)(必着)▶資料請求および問い合わせ先=財団法人エイ・エフ・エス日本協会〒105-0001 東京都港区虎ノ門5森ビル6F TEL:03-5251-0171(代表) FAX:03-5251-0177

★第14回ミス&ミセスのためのホームステイ

'93年春発表以来、好評を博し、マスコミでも大変話題になったこのプログラムは、社会の最小単位である家庭=ホームで生活体験をしながら、その国の教育・文化・福祉・環境の実情に接し、人と人とのふれあいの場を拓げる、楽しみながらも有意義な研修旅行。今回はヨーロッパ二か国とカナダを計画。異文化体験が体験できる。

▶参加対象=20~68歳の女性で、積極性・

協性を持ち心身共に健康な方。▶募集人員=各コース18名(最少催行人員10名)▶申込み締切日=2001年4月5日(木)(先着順)▶各コース期間=①ブリティッシュウェイオブライフ11日間(2001年5月15日(火)~5月25日(金))②カナディアンウェイオブライフ10日間(2001年5月30日(水)~6月8日(金))③スイスウェイオブライフ11日間(2001年5月15日(火)~5月25日(金))▶お問い合わせおよび申込み=社団法人日本国際生活体験協会(EIL)〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-3 平河町伏見3F TEL:03-3261-3451 FAX:03-3261-9148 EMAIL アドレス eil-japan@mug.biglobe.ne.jp

★2001年度バーマカルチャ塾

自然環境を考慮した適切な土地の利用や生態系の働きを学び、永続的な(permanent)農業および文化(agriculture/culture)を築くバーマカルチャーの年間コース。

バーマカルチャー・デザイン・コース、バーマカルチャー実習コース、BASIC コースがある。▶問い合わせ先=バーマカルチャー・センター・ジャパン〒199-0206 神奈川県津久井郡藤野町牧野1653 TEL:0426-89-2088 FAX:0426-89-2224 eMAIL:ye6k-str@asahi-net.or.jp

★第84回TOEIC 定期公開テスト

TOEICは年7回全国61都市で行われています。▶試験日=2001年5月27日(日)▶申込期間=2月1日(木)~4月18日(水)▶受験票未着受付時間=5月21日(月)~25日(金)▶結果発送予定日=6月26日(火)▶受験資格=制限なし▶受験料=6,615円(消費税5%含む)一度納入された受験料はお返しません。▶問い合わせ先および受験申込書請求先=財団法人国際ビ

ジネスコミュニケーション協会TOEIC 運営委員会東京業務センター 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2山王グランドビル TEL:03-3581-4701 FAX:03-3581-4771 フリーダイヤル 0120-40-1019 (24時間案内) 受験票未着問い合わせ電話(受験票未着問い合わせ期間内の祝日を除く9:30~17:00のみ) 03-5521-5909 オンライン申込みも受付中。https://sp.toeic.or.jp オンライン申込み実施期間=3月6日(火)~4月19日(木)昼12:00まで。

TIA日誌

2001年1月1日~2001年2月28日

- 1/14 国連英語検定第2次試験(センター)
1/22 「TIA ニュース‘やあ!’on TV’(とちぎテレビ放映)
1/24 海外移住家族会関東甲信越静プロック会議(宇都宮市)
1/26 フランス派遣高校生第1回研修会(センター)
1/27 キッズ・インターナショナル・クラブ(センター)
親子でみてね映画会(センター)
2/2 宇大付属中学生・星が丘中学生センター訪問
2/5 南米短期高校生受入れ(～21日)
2/16 県費留学生・研修員・南米短期研修生スキー教室(日光湯元)
2/20 浙江省定期協議団受入れ(～26日)
2/22 先生のための国際理解教育実践セミナー(センター)
2/24 フランス派遣高校生第2回研修会
2/25 青年海外協力隊派遣隊員家族懇談会(センター)



国産第1号機の実績と信用



情報マシンとシステム販売

栃木システム販売株式会社

代表取締役 大 金 幸 司

本 社 〒321-0933 宇 都 宮 市 築 瀬 町 1 7 8 5
電 話 (028) 637-1933(代) FAX (028) 634-4191

印刷からテレビCM制作まで



必要なときに必要なだけ オンデマンド印刷機

インターネットのホームページ制作は当社へ!

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

〒321-0904 宇都宮市陽東5丁目9番21号
TEL 028-662-2511(代) FAX 028-662-4278
URL: http://www.pto.co.jp/ E-mail: pto@mx1.alpha-web.ne.jp

TIA Information Corner

知ってて得する なんでもQ&A

Q. 海外にペットを連れて行きたいのですが？

A. 動物を海外に連れていく場合、原則として日本では輸出検疫と通関手続きが必要となります。動物の種類や相手国によって入国が認められないこともありますので、事前に相手国の大天使館などで確認しておくと良いでしょう。

日本での輸出検疫（検疫義務づけられてない動物もある）については、最寄りの動物検疫所まで。なお、連れていく方法は、機内持ち込み、手荷物扱い、貨物扱いの三種類で、動物の種類や大きさで異なりますから事前に利用する航空会社に問い合わせてください。

成田検疫所（第二旅客ターミナルビル内）
TEL0476-34-2310

★P I E E 高校生私費留学プログラム

このプログラムは日本の高校生を対象とした英語圏6か国（アメリカ・カナダ・イギリス・アイルランド・オーストラリア・ニュージーランド）の公・私立高等学校への留学プログラムで、一年間から卒業資格の取得までの支援を行っています。▶留学国=アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド ▶期間=1年間あるいは複数年 ▶出発時期=アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド-7月あるいは8月、オーストラ

リア、ニュージーランド-1月あるいは2月▶応募資格=高校在学生、中学卒業者または中学卒業見込みのある方で、19歳未満の健康明るい方。▶応募方法=選考試験による方法（英語筆記テスト、日本語基礎学力テスト、保護者同伴の面接）▶受験料=20,000円▶申込みおよび問い合わせ先=国際教育交流協会（P I E E ）〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7 紀尾井町TBR1015 TEL:03-3263-1292 FAX:03-3221-1393 EMAIL:piee@piee.gr.jp

★2001年スタディーツアー

▶実施国=スリランカ（5月中旬・サルボダヤ、プロジェクト見学）、ベトナム（6月中旬・幼稚園訪問、交流）、タイ（7月上旬・教育プロジェクト視察）、中国（9月30日（日）～10月6日（土）・植林プロジェクト視察）、インド（10月中旬～下旬・タージマハール見学、女性自立支援プロジェクト見学）、バングラデシュ（11月16日（金）～11月23日（金）・プロジェクト視察、交流、ホームステイ）、カンボジア（12月1日（土）～12月8日（土）・カンボジア野歴史に触れる旅、農村見学、交流）▶参加対象=▶アジア協会アジア友の会会員で、心身ともに健康な男女、アジアの農村になじむことの出来る順応性ある方、団体行動における協調性のある方、未会員の方は申込みに手続きが必要です。▶申込方法=参加申込書に必要事項記入の上、申込金（3万円）、会費（会員になってない方のみ）を添えて、事務局まで持参かまたは、現金書留で、事務局宛にお送りください。▶締切りおよび定員=各コース定員15名です。航空券取得都合のため、1か月前に締め切らせ

ていただきますが、締切り後も人数に余裕のある場合は受け付けます。▶参加費支払い方法=申込金（3万円）は、参加費用に含まれます。残金は出発日の3週間前までに振り込んでください。▶申込み・お問い合わせ=（社）アジア協会アジア友の会〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-16大一ビル4F TEL: 06-6444-0587 FAX: 06-6444-0581 EMAIL:jafs@bekkoame.ne.jp（地下鉄四ツ橋線肥後橋駅下車1-B 出口よりすぐ／地下鉄御堂筋線淀屋橋駅4号出口徒歩6分）

TIA 賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、TIA の機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIA の様々な事業に使われております。地域の国際化のために役立っています。

<新規賛助会員の方々>

個人：石田雄人様、中田岳仁様
杉本等様、君島利一様
上野勝弘様

～ご入会、ありがとうございます～

○今年度の研修員は、芸人揃いで驚いた。日光の湯元でスキー教室を行ったが、多芸ぶりを發揮。熱唱が続き、なかなか歌が終わらなかった。

○中国・浙江省から浙江省定期協議団が来校し、協議の後、日光で、初めてスキーを履いてクロスカントリーに挑戦した。みんな最初は楽しく滑っていたが、距離が長かったせいか後半ばて気味。一番頑張ったのは、一番年上の葉さん（40代の男性）でした。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

